Refocus AI

ピンボケ写真の修整

akvis.com

CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- プログラムの登録
- 操作方法
  - ワークスペース
  - 操作方法
  - リフォーカス AI
  - 逆ティルト効果
  - アイリスぼかし
  - モーションぼかし
  - 放射状ぼかし
  - ぼけ味
  - 環境設定
  - バッチ処理
  - 印刷
- 操作例
  - おもちゃの世界
  - 惹きつけられる瞳
- AKVISプログラム

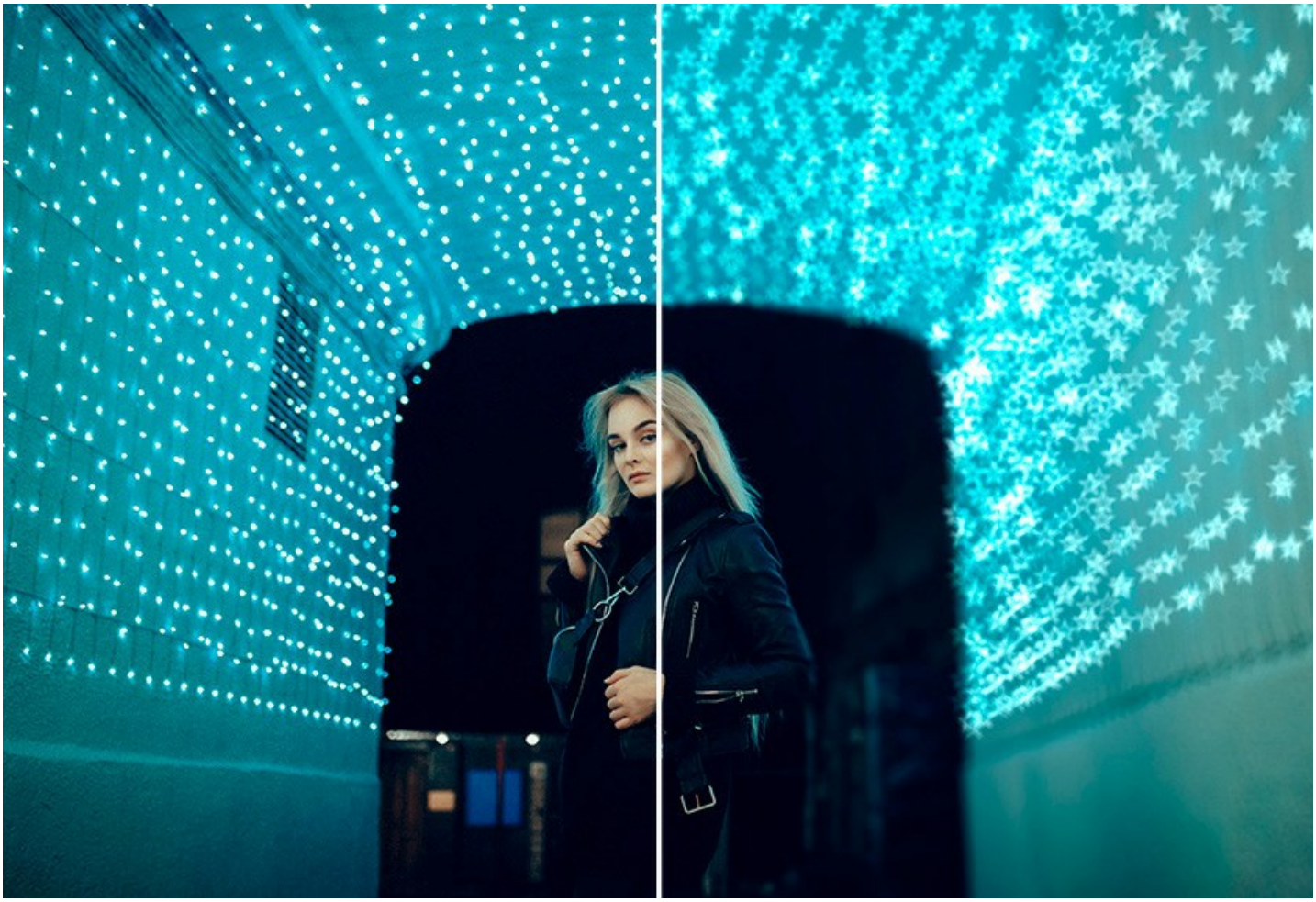
AKVIS REFOCUS AI 11.5 | ピンボケの修正とぼかし効果

焦点調整ソフトウェアとしての **AKVIS Refocus AI** は、写真を鮮明にし、鮮明度を調整し、モーションぼかしによる問題を修正します。アーティスティックぼかしやぼけ味効果の適用も行います。AKVIS Refocus を使って写真をより良いものにすることで、美的価値が一気に上がります!

デジカメは日常の 1コマのキャプチャのための良いお供といえます。持ち歩きに便利で、時間の節約になる自動設定機能も充実しています。しかし、時々、撮影対象から焦点がずれることにより写真がぼけてしまうことがあります。

AKVIS Refocus AI は、そのような写真の修整を行うために開発されたソフトです。本ソフトウェアは、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。ぼけ味やレンズぼかし効果を与えることもできます。

本ソフトウェアには、5つのモードがあります。**リフォーカス AI**、**逆ティルト効果**、**アイリスぼかし**、**モーションぼかし**、**放射状ぼかし**の 5つです。



リフォーカス **AI**モードは、ピンぼけ写真を鮮明なものにします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。写真がより印象的で、際立ったものになります。

この処理モードでは、焦点調整オプションの [モーションぼかしの修正 (AI)] と [画像を鮮明に]の片方もしくは両方を適用できます。さらに必要な場合には、[背景をぼかす]機能も使用できます。

[モーションぼかしの修正 (AI)]モードは、最先端の AI技術を使用して、ぼけた画像を修正します。カメラ、もしくは被写体が動いたことによってぼけた画像の修正に特に有効です。[画像を鮮明に]モードは、様々なタイプのシャープ効果やぼかし効果を調整して、画像の鮮明度を回復させます。

はっきりした画像であっても、改善してより良いイメージにすることができます。特殊な効果で特定の部分を目立たせるには　部分指定のツールを使ったピントの調整を行うことができます。デジタル写真での部分指定のツールを使ったピントの調整は、人物像や接写モードの撮影時に使用されます。このソフトウェアでは、特別なツールを使って被写体と背景を分けることができます。部分指定のツールを使ったピントの調整をよりリアルにするために、写真の一部を鮮明にし、残りをぼかすことができます(*Deluxe/Business* のみ)。

逆ティルト効果モードは、鮮明な部分が帯状に適用され、エッジ部分ではぼかしが徐々に適用され、スムーズな遷移が見られます。このモードは、写真内のオブジェクトがまるで「おもちゃ」のように見えます。外側の部分をぼかすので、オブジェクトがミニチュア模型のように見えます。実生活でこのような写真を撮るには、専用のカメラレンズを使う必要があります。しかし、このソフトウェアを使えば、どんな写真もミニチュアの世界に変身させることができます!

アイリスぼかしモード（*Deluxe/Business* ライセンスのみ）は、被写体のピントを維持しつつ、背景をぼかすことにより、浅い被写界深度効果が適用されます。

逆ティルト効果モードとは異なり、鮮明にする領域の形（楕円、長方形）を指定できます。プロのカメラマンであれば、この効果を得るために開口の大きさを調整したり、レンズを変えたりします。しかし、このプログラムを使えば、ぼかした背景がワンクリックで作成できます。

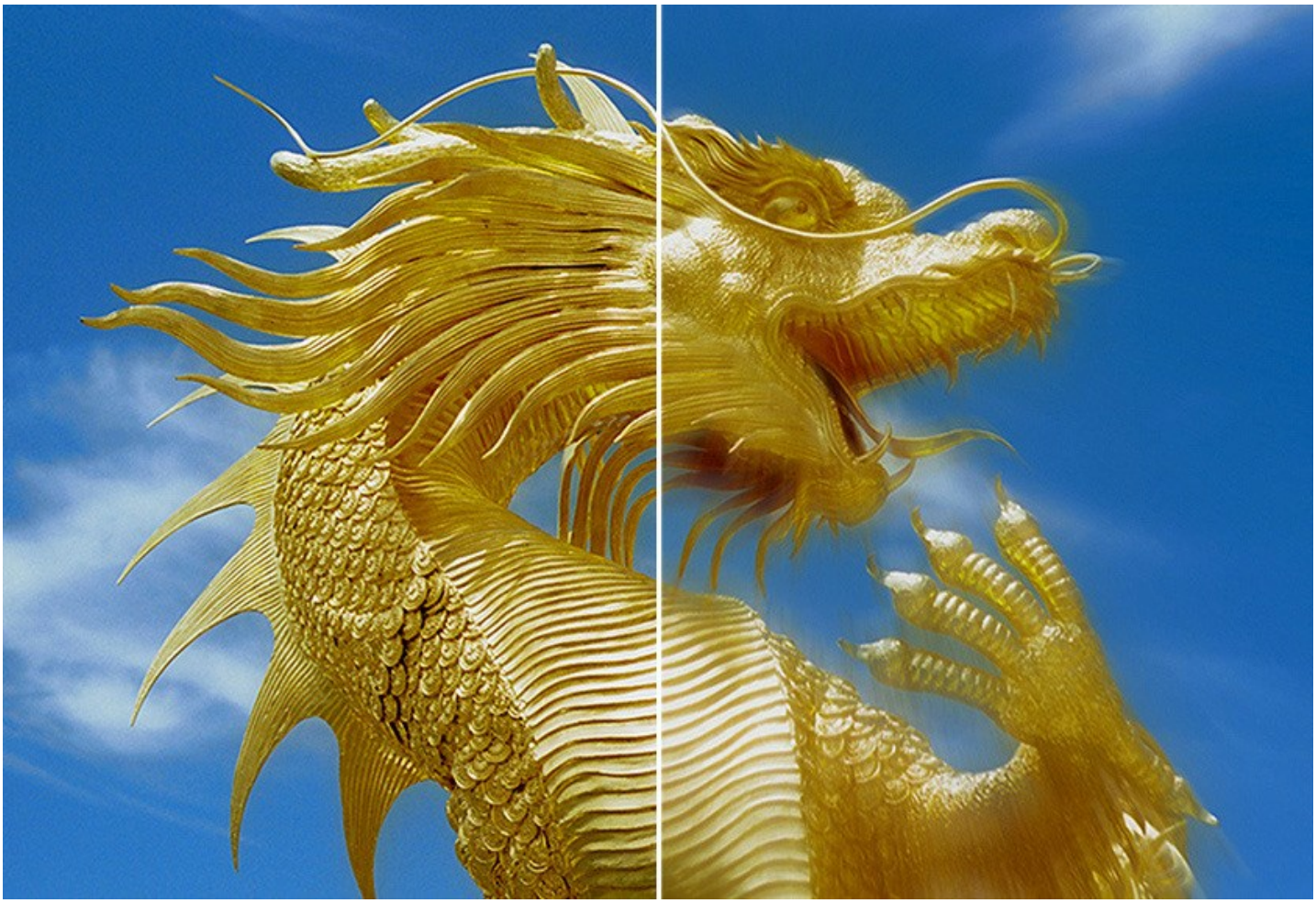
モーションぼかし モードを使用すると、静止画に動きを与えることができます。画像を直線方向にぼかすことで、高速で動くものであるかのような錯覚を与えることができます。

画像全体に効果を適用することもできますし、背景をぼかすことによって、特定の部分を目立たせることができます。画像に 動きを!

放射状ぼかし モードは、通常、撮影時にカメラを回転またはズームさせることによって生じる、円形のぼかし効果を写真に与えます。このモードでは、さらに、以下の 2つのオプションを選択できます。

ズームぼかし オプションは、写真が自分に向かってまたは自分から離れていくように見える効果を与えます。
スピンぼかし オプションは、画像が回転しているような効果を与えます。

素晴らしいぼかし効果で写真をよみがえらせることができます!



すべての人に高度な写真技術が利用可能となりました!

良い写真に特殊な能力は一切必要ありません。ソフトウェアは初心者にとっても使用は簡単です。処理を簡単に行えるよう、多くのプリセットも用意されています。処理結果をリアルタイムで確認することもでき、*処理前* と *処理後* の状態を比較できます。

AKVIS Refocus AI は、2つのバージョン、スタンドアロン版とプラグイン版で利用できます。

プラグイン版は、AliveColors、Adobe Photoshop、Photoshop Elements、Corel PaintShop Pro や他のフォトエディターと互換性があります。詳細は、対応表をご覧ください。

インストール

AKVIS Noise Buster を Windows OS 搭載の PC にインストールするには、次の指示に従います。

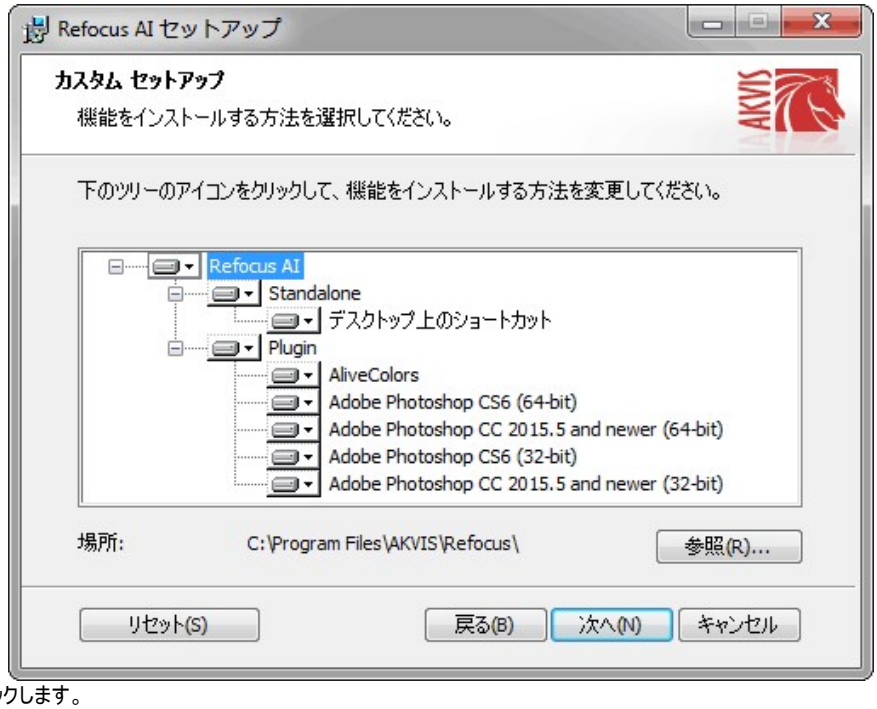
- セットアップ用の **exe** ファイルをダブルクリックして起動させます。
- 言語を選択し、[OK]をクリックするとインストール画面が表示されます。
- インストールを続行するには、**ライセンス契約書**を読み、同意する必要があります。

  [使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。

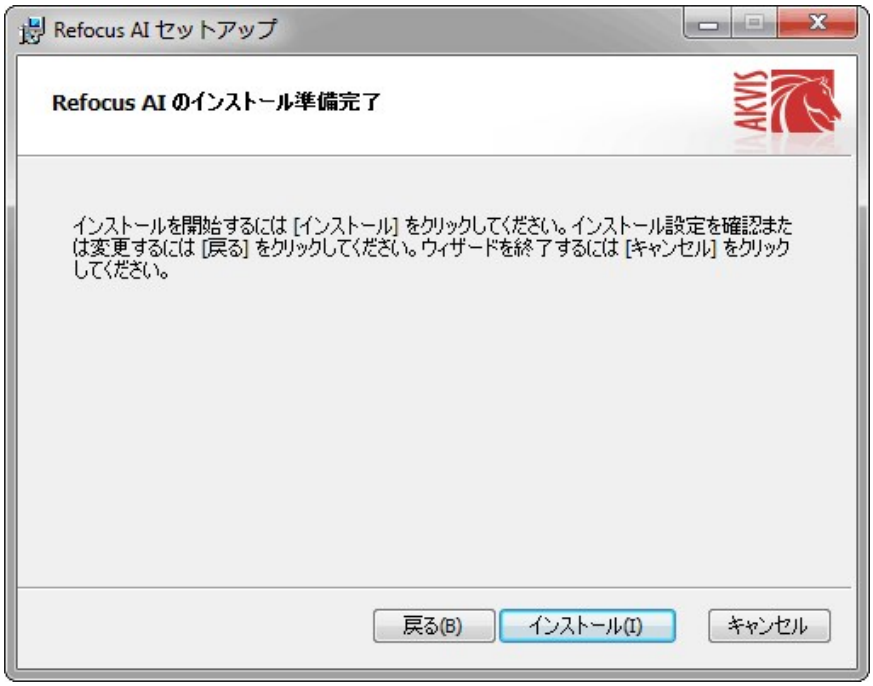
- **プラグイン**版をインストールする場合は、一覧から使用するフォトエディターを選択します。

  スタンドアロン版をインストールする場合、[Standalone]が選択されていることを確認ください。
  デスクトップにプログラムのショートカットを作成する場合、 [デスクトップにショートカットを作成]を選択します。

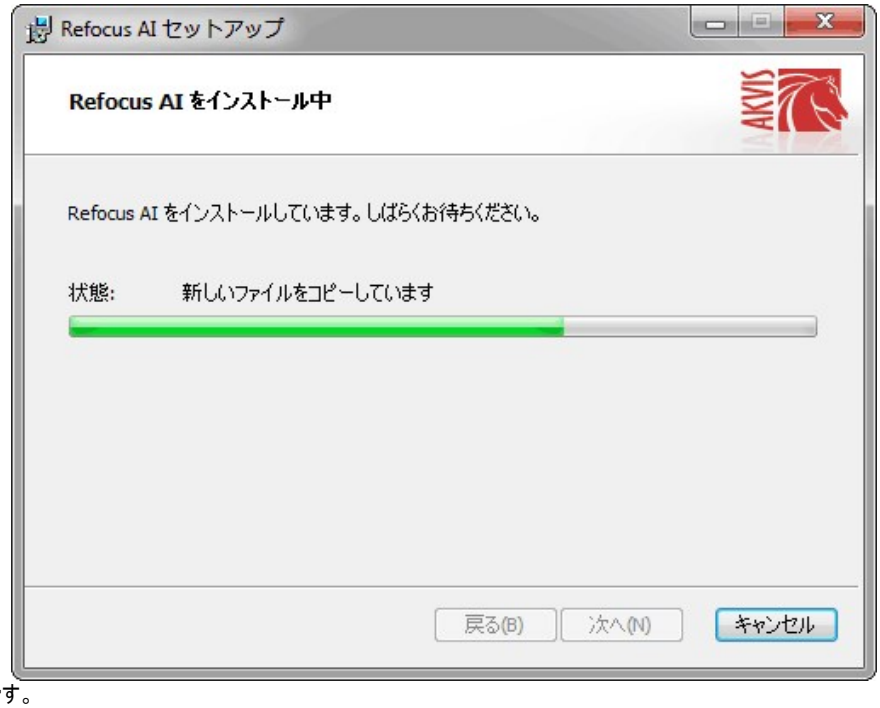
  [次へ]をクリックします。



- **[インストール]**ボタンをクリックします。



- インストール処理が開始されます。



- これでインストールは完了です。

AKVIS ニュースレターの購読を申し込むと、アップデート、イベント、割引きキャンペーン等についてのお知らせを受け取ることができます。メールアドレスを入力し、プライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります。

- **[終了]**をクリックします。

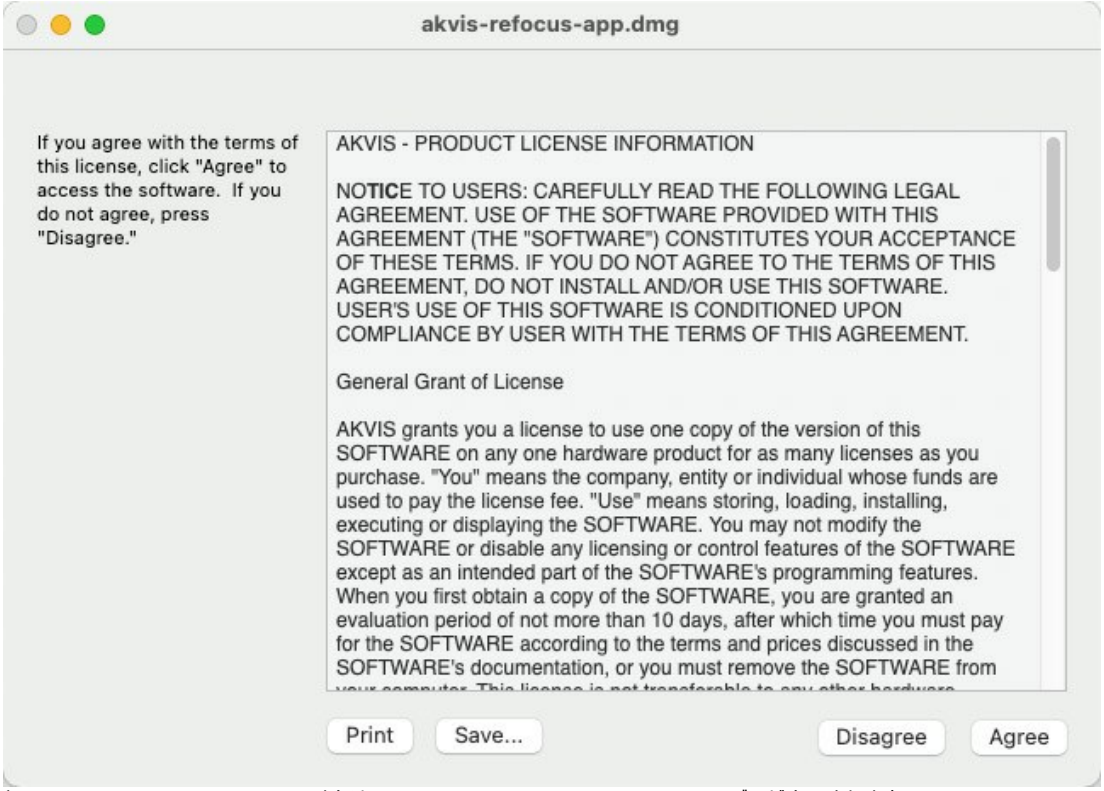
スタンドアロン版をインストールすると、**[スタート]**メニューにプログラムの新しい項目が追加されます。[デスクトップにショートカットを作成]オプションを選択した場合、デスクトップにショートカットも追加されます。

プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]または[効果]メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合、[フィルター] > [AKVIS]> [Noise Buster]となります。

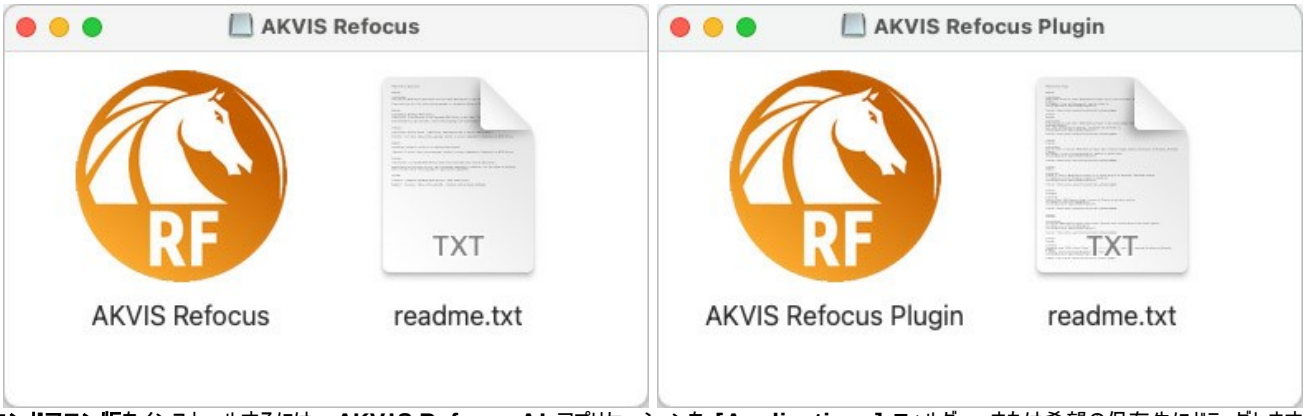
インストール

AKVIS Refocus AI を Mac PC にインストールするには、次の指示に従います。

- **dmg** ファイルを開きます:
  - **akvis-refocus-app.dmg** (**スタンドアロン版**をインストールする場合)
  - **akvis-refocus-plugin.dmg** (**プラグイン版**をフォトエディターにインストールする場合)
- **ライセンス使用許諾契約書**を読み、同意する場合は、[Agree(同意)] をクリックします。



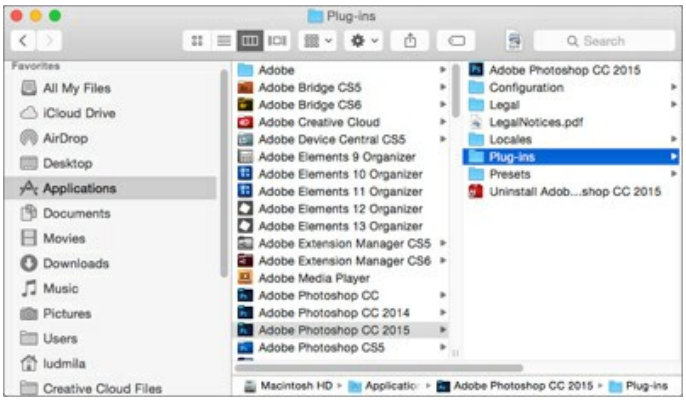
- **Finder** が開き、**AKVIS Refocus AI App** または **AKVIS Refocus AI PlugIn** フォルダーが表示されます。



- **スタンドアロン版**をインストールするには、**AKVIS Refocus AI** アプリケーションを **[Applications]** フォルダー、または希望の保存先にドラッグします。

  プラグイン版をインストールするには、**[AKVIS Refocus AI PlugIn]**フォルダーを、グラフィック エディターの**[Plug-Ins]**フォルダーにドラッグします。

  Photoshop CC 2020, CC 2019, CC 2018, CC 2017, CC 2015.5 の場合、**Library / Application Support / Adobe / Plug-Ins / CC**
  Photoshop CC 2015 の場合、**Applications / Adobe Photoshop CC 2015 / Plug-ins**
  Photoshop CS6 の場合、**Applications / Adobe Photoshop CS6 / Plug-ins** に移動させます。



プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合は、**[フィルター] > [AKVIS] > [Refocus AI]**が追加されます。

スタンドアロン版は、**Finder** のアイコンをダブルクリックすることにより実行します。

AKVIS プログラムを実行する別の方法は、[Image]メニューの[Edit With]コマンドから、**Photos** アプリケーションを選択することです (High Sierra 以降の macOS)。

AKVIS製品のアクティベーション方法

注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーションも提供しています(詳細は「オフライン アクティベーション」を参照)。

AKVIS Refocus AI をダウンロードし、プログラムをインストールしてください。 インストール方法の詳細はこちら。

アクティベーションを行っていないプログラムを起動すると、スプラッシュ ウィンドウが表示され、バージョン情報や試用期間の残り日数等を知らせてくれます。

[バージョン情報]ウィンドウは、プログラムのコントロールパネル内の ボタンをクリックして表示することもできます。

ソフトウェアを試しに使う場合は、**[試用]**をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。使用するバージョンを選択します。**Home**(プラグイン/スタンドアロン)、 **Home Deluxe** または**Business**から選択します。選択するライセンスによってプログラムで利用できる機能が異なります。ライセンスの種類やソフトウェアのバージョンに関する詳細は、比較表を参照してください。

試用期間が終了している場合、**[試用]** ボタンは選択できません。

[購入]ボタンをクリックして、購入するライセンスを選択してください。

支払いが完了するとすぐに、プログラム用のシリアル番号が送られます。

アクティベーション処理を開始するには、[アクティベート]をクリックします。

お客様名を入力します (プログラムはこの名前で登録されます)。

シリアル番号 (アクティベーション キー) を入力します。

アクティベーション方法 (アクティベーション サーバーへの直接接続または電子メール) を指定します。

アクティベーション サーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティベート]をクリックします。

これでアクティベーションは完了です!

電子メールでリクエストを送信:

[電子メールでリクエストを送信]を選択した場合、プログラムによって、必要な情報をすべて含んだ新規メールが作成されます。

注意: この方法は、**オフライン アクティベーション**でも利用できます。

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、USB 等を利用して、インターネットに接続されているコンピューターにアクティベーションに関するデータを移動させます。情報の送り先:activate@akvis.com までお送りください。

スクリーンショットを添付しないでください！テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、お客様名、コンピューターのハードウェアID (HWID) です。

この情報を元に、ライセンス ファイル(**Refocus.lic**) を作成し、登録されているメールアドレスにお送りします。

この **.lic** ファイルを開けずに保存します。保存先は、ソフトウェアをアクティベートするコンピューターの **[AKVIS]**フォルダー ([ユーザー] > [パブリック] > [パブリックのドキュメント]) です。

- **Windows 7/8/10** の場合:

  Users\Public\Documents\AKVIS;

- **Mac** の場合:

  Users/Shared/AKVIS

これでアクティベーションは完了です!

プログラムがアクティベート済みの場合、[購入]は[アップグレード]に変わり、ライセンスのアップグレードができるようになります。たとえば、**Home** から **Home Deluxe** または **Business** へのアップグレードができます。

ワークスペース

AKVIS Refocus AI は、独立した*スタンドアロン プログラム*として、また、ご使用のフォトエディターの*プラグイン*としても機能します。

スタンドアロン は独立したプログラムでプログラムのアイコンをクリックして開くことができます。

スタンドアロン版を起動する方法:

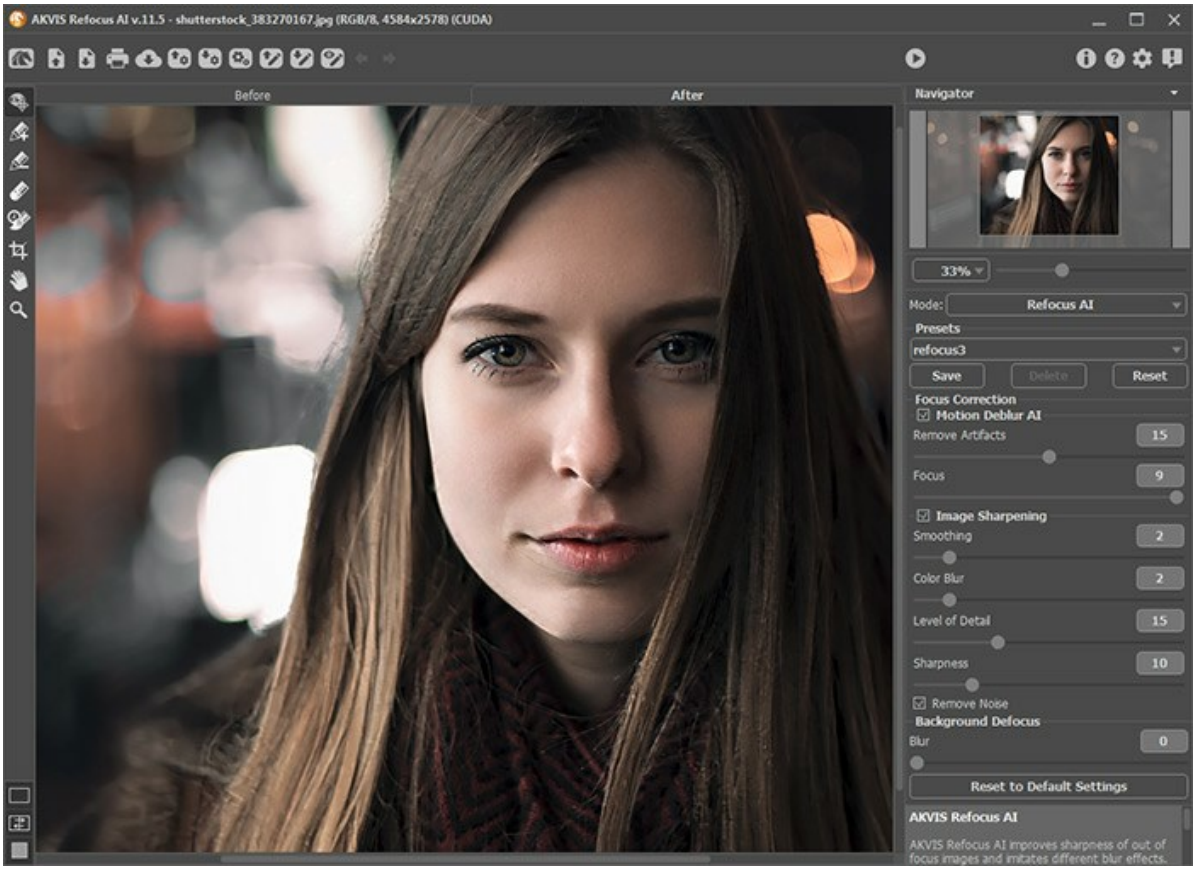
Windows コンピューターの場合: **[スタート]** メニューまたはプログラムのショートカットを使用します。

Mac コンピューターの場合: **[アプリケーション]** フォルダーからアプリを起動します。

プラグイン は、Photoshop等の フォトエディターのアドオンとして動作します。

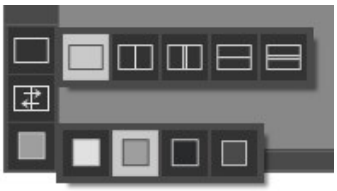
プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターのフィルターから選択します。

AKVIS Refocus AI のワークスペースは次のように表示されます。



プログラム ウィンドウの左側には**イメージ ウィンドウ**があり、**[処理前]** と **[処理後]** の 2つのタブで構成されています。**[処理前]** タブには元のイメージが表示され、**[処理前]** タブには処理済みのイメージが表示されます。タブを切り替える場合は、Tabキーを押すか、マウスでクリックします。

イメージ ウィンドウと **[処理前]**、**[処理後]** タブの表示方法は、左側パネル下部の**表示モード**で変更できます。



ウィンドウ上部には、以下のボタンを含む**コントロールパネル**があります。

: **AKVIS Refocus AI** のホームページに移動します。

: イメージを開きます (スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windowsで `Ctrl` + `O` キー、Macで `⌘` + `O` キーです。

: 処理したイメージをディスクに保存します (スタンドアロン版のみ)。 この操作に対するホットキーは、Windowsで `Ctrl` + `S` キー、Macで `⌘` + `S` キーです。

: 印刷ダイアログを開いてイメージを印刷します(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windowsで `Ctrl` + `P` キー、Macで `⌘` + `P` キーです。

: ソーシャルネットワークに画像を投稿することができます。

: プリセット一覧をインポートします(**.refocus**ファイルから)。

: プリセットをエクスポートします(プリセットとはユーザーが保存しておいたイメージ処理に使用する各種設定)。プリセットは拡張子**.refocus**の別ファイルに保存できます(保存可能なプリセット数に制限はありません)。

: 複数のイメージを同時に自動処理するための**バッチ処理**ダイアログが表示されます (スタンドアロン版のみ)。

: 拡張子が **.refstrokes** のファイルを開きます。この種類のファイルには、イメージに描いたストロークが保存されています。

: イメージに描いたカラーストロークをファイルに保存します。拡張子は、**.refstrokes**です。

/ : 描画したストロークのオン/オフを切り替えます。

: **リフォーカス**モードの最後の操作を取り消します。連続する複数の処理をキャンセルできます。この操作に対するホットキーは、Windowsで Ctrl+Z キー、Macで ⌘+Z キーです。

: 最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をやり直すことが可能です。この操作に対するホットキーは、Windowsで Ctrl+Y キー、Macで ⌘+Y キーです。

: イメージ処理を開始します。この操作に対するホットキーは、Windowsで Ctrl+R キー、Macで ⌘+R キーです。

: 変換結果をイメージに適用し、プログラムを閉じます (プラグイン版のみ)。

: プログラムに関する情報を含む、バージョン情報ウィンドウを開きます。

: ヘルプファイルを呼び出します。この操作に対するホットキーは F1 キーです。

: プログラムの環境設定を変更するための **[環境設定]** ダイアログボックスを開きます。

: このボタンは、Refocus AIに関する最新ニュースを表示するウィンドウを開きます。

イメージ ウィンドウの左側には、**ツールバー**があります。各ツールのパラメーターは**設定パネル**とイメージ ウィンドウ内を右クリックした場合に表示されるポップアップメニューに表示されます。

: **履歴ブラシ**ツールを有効にすると、効果を弱め、画像を部分的もしくは全体的に元の状態にレストアします。

: スタンドアロン版のみになりますが、**切り取り**ツールを有効にし、画像内の不要部分の切り取りを行うことができます。

リフォーカス AI モード、モーションぼかし、放射状ぼかし:

: リフォーカス AI モードでのクイックプレビューのオン/オフ (表示/非表示) を切り替えます。

と のボタン (Home Deluxe と Business ライセンスでのみ利用可能) は、処理領域の選択使用される特別なツールをアクティブにします。

: 青いストロークで、鮮明度を維持または強化する領域を指定します。

: 赤いストロークで、背景となるオブジェクトを指定します。ぼかしモードを使用して、ぼかすことができます。

: **消しゴム**ツールを有効にします。このツールでは、鉛筆で描画したストロークや線を消去できます。

アイリスぼかしと逆ティルト効果モード:

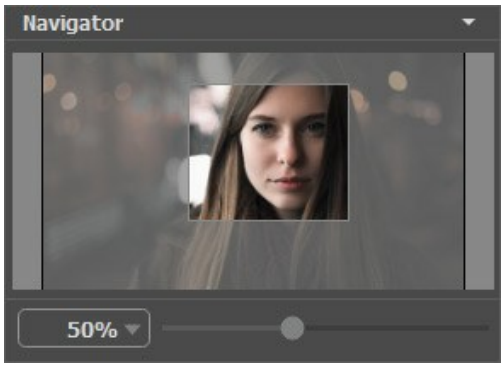
: **ぼかし領域**ツールを有効にし、ぼかし効果領域の調整を行います。

その他のツール:

: **手のひら**ツールを有効にし、画像を動かして**イメージ ウィンドウ**に表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上でクリックしたままドラッグして表示画像を動かします。
ツールバー上にある アイコンをダブルクリックすると、イメージは**イメージ ウィンドウ**に合わせたサイズで表示されます。

: **ズーム**ツールを有効にし、イメージの表示サイズを変更します。クリックすると、ズームイン (拡大) します。Alt キーを押しながらクリックすると、ズームアウト (縮小) します。Z キーを押すとキーを押すと、クリックなしで、ズームツールに切り換えられます。
ツールバー上にある アイコンをダブルクリックすると、イメージが100%の倍率 (実際の大きさ)で表示されます。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには**ナビゲーター**を使用します。**ナビゲーター**には、イメージの縮小版が表示されます。赤枠で囲まれた領域は、現在**イメージ ウィンドウ**に表示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になり、イメージ ウィンドウに表示されません。表示されていない部分に赤枠を重ねると表示できます。赤枠を動かすには、**ナビゲーター**の赤枠の内側にカーソルを置き、目的の位置までドラッグするだけです。



さらに、スクロールバーの使用、キーボードのスペースバーとマウスをクリックしたままイメージをドラッグすることで、**イメージ ウィンドウ**内に表示されるイメージを変えることができます。マウスのスクロールホイールを使うとイメージは上下に動き、Ctrl (Macでは ⌘)キーを押しながらの場合は左右に動き、Altキー (MacではOption)を押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

スライダーを使用して、イメージ ウィンドウ内のイメージを拡大/縮小することができます。スライダーを右に動かすと拡大され、左に動かすと縮小されます。

さらに、[拡大/縮小] 欄に値を入力してイメージを拡大/縮小することもできます。よく使用する倍率の値はドロップダウンメニューにも用意されています。

ホットキーを使用して、画像を拡大/縮小することもできます。拡大する場合は +キーおよび Ctrl++キー (Macでは ⌘++キー)、縮小する場合は -キーおよび Ctrl +-キー (Macでは ⌘+-キー)を使用します。

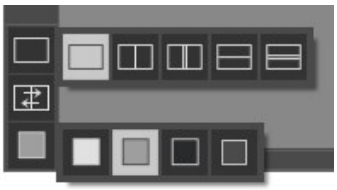
ナビゲーターの下には、**設定パネル**があり、フォーカスの設定に関連するパラメーターを調整できます。

[プリセット]フィールドでは、現在の設定内容をプリセットとして保存できます。保存したプリセットは後で使用できます。プログラムの起動時には、最後に使用したプリセットが使用されます。

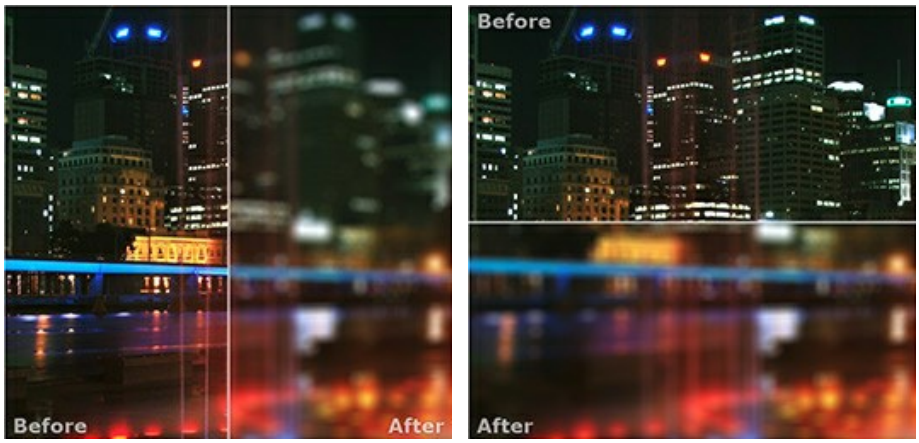
設定パネルの下には、カーソルをパラメーターやボタンに合わせた場合に**ヒント**が表示されます。ヒントの表示位置や表示/非表示の設定はプログラムの**環境設定**で行うことができます。

イメージの表示モード

AKVIS Refocus AI のツールバーの下部には、**イメージウィンドウ** の表示を選択できる 3種類のボタンがあり、**処理前** と **処理後** タブに分類されます。

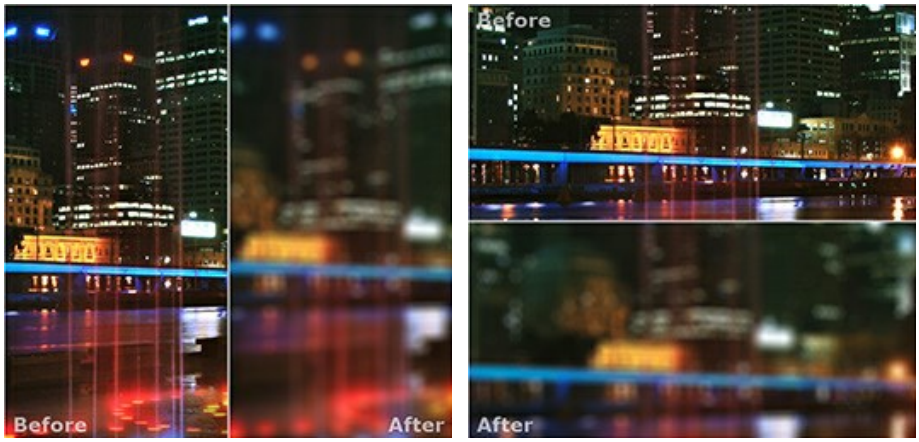


- 一番上のボタンは、元の画像と処理後の画像の表示方法に関するサブメニューが表示されます。
  - ボタンは、標準的な**イメージウィンドウ**で、**[処理前]**タブと**[処理後]**タブを切り替えることができます。
  - と は、縦もしくは横に分断された**イメージウィンドウ**になります。元のイメージと処理後のイメージが両方とも部分的に表示されます。**[処理前]**および**[処理後]**の2つのタブが1つのイメージウィンドウを構成します。



この配置によって、**[処理前]**と**[処理後]**の縦横比を変えてスプリッターをドラッグすることができます。

  - と も、縦もしくは横に分断された**イメージウィンドウ**になります。しかし、前述のものとは異なり、元のイメージと処理後のイメージの同じ部分が表示されます。



注意:一度に同じ画面で元のイメージと処理結果を比較したい場合には、半分のウィンドウを選択します。処理後のイメージを全体としてみたい場合には、最初に挙げた標準的な**イメージウィンドウ**を選択します。

- は分割ウィンドウで表示している場合において、元のイメージと処理後のイメージの位置を入れ替えます。
- 一番下のボタンは、**イメージウィンドウ**の背景色を選択します 、 、 のいずれかをクリックすると、背景色が白、グレー、黒に変わります。 をクリックすると、**[色の選択]**ダイアログが表示され、背景色を任意の色に変更できます。

操作方法

AKVIS Refocus AI は、ピンぼけ写真を鮮明にしたり、アーティスティックなぼかし効果を加えることができます。独立した*スタンドアロン プログラム*としても、お使いのフォトエディターの*プラグイン*としても使用できます。

以下の手順を実行します。

ステップ 1: 画像を読み込みます。

- スタンドアロン版で作業する場合:

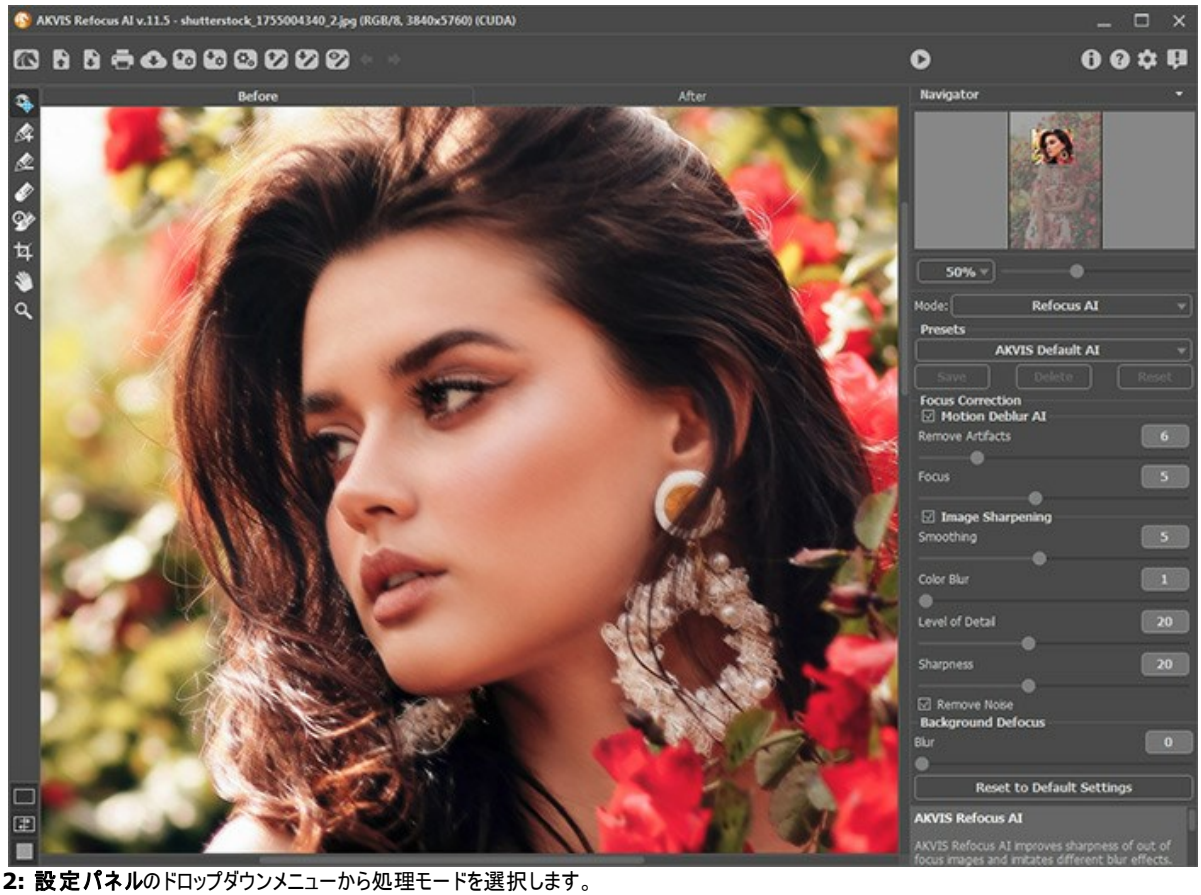
画像を開くには、ワークスペースの空き領域をダブルクリックするか、**コントロールパネル**の をクリックします。スタンドアロン版は、**BMP**、**JPEG**、**PNG**、**TIFF**、**RAW** ファイル フォーマットをサポートしています。

-プラグイン版で作業する場合:

お使いのフォトエディターでイメージを開くには、 **[ファイル] > [開く]**コマンドを実行するか、ホットキーである Ctrl+O キー、Mac の場合は ⌘+O)キーです。

AKVIS Refous AI プラグインを呼び出します。

AliveColorsの場合、[効果] > [AKVIS] > [Refocus AI]、
Adobe Photoshopの場合、[フィルター] > [AKVIS] > [Refocus AI]、
Corel PaintShop Proの場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [Refocus AI]、
Corel Photo-Paintの場合、[効果] > [AKVIS] > [Refocus AI]を使用します。

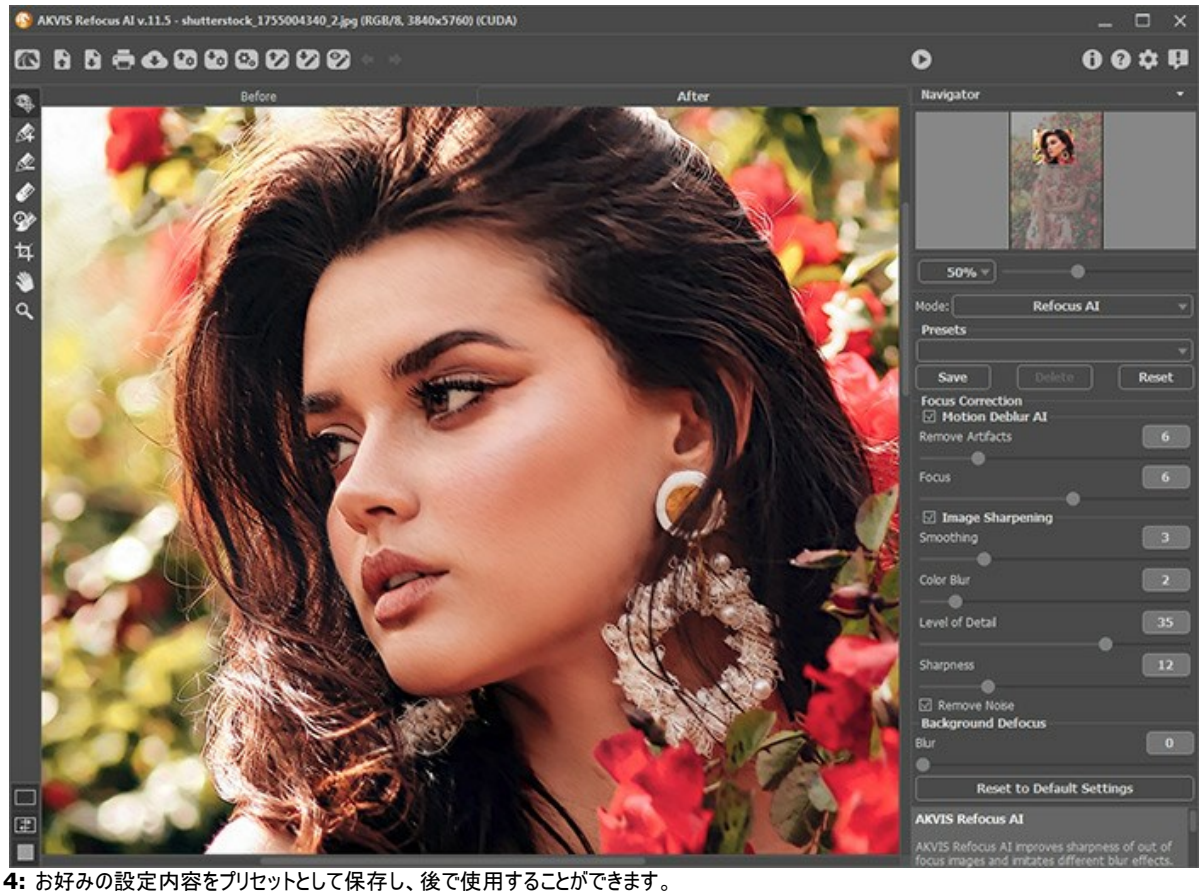


ステップ 2: 設定パネルのドロップダウンメニューから処理モードを選択します。

リフォーカス AI はピンぼけ画像の修正とカメラや被写体が動いたことによってぼけた画像の修正ができます。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、特定のディテールのみのリフォーカスもできます。
逆ティルト効果モードは、写真がミニチュアのおもちゃのように見える効果です。イメージが「ミニチュア化」、つまり、周辺部をぼかし、オブジェクトが模型のように見えるような効果が適用されます。
アイリスぼかしモードは、被写体のピントを維持しつつ、背景をぼかすことにより、浅い被写界深度効果が適用されます。このモードは、Home Deluxe 版とBusiness 版でのみ利用できます。
モーションぼかし:この方法は、カメラの直線的な動きを模倣します。
放射状ぼかし:ある点を中心に領域をぼかし、カメラの回転のような効果を与えます。

リフォーカス AI モードがイメージを鮮明にするのに対し、他の 4つのモードはぼかし効果が適用されます。多くの場合、**アイリスぼかし** は人物が被写体の場合、**逆ティルト**は風景写真、**モーションぼかし**は、直線的な動きをするもの (例えば、車)、**放射状ぼかし**は円形のもの (例えば、動く車のタイヤ) に対して使用するのに適しています。

ステップ 3: 設定パネルのパラメーターを調整します。



ステップ 4: お好みの設定内容をプリセットとして保存し、後で使用することができます。

注: プリセットは、**設定パネル**のパラメーターの値を保存するのであって、効果適用領域を指定したラインを保存するわけではありません。

プリセットを保存するには、**[プリセット]**欄にプリセット名を入力し、**[保存]**ボタンをクリックします。今後、このプログラムを実行した際は、このプリセットの設定が使用されます。各種パラメーターの値を変更した場合、**[リセット]**ボタンをクリックすることで、プリセットの初期設定に戻すことができます。

プリセットを削除するには、一覧から目的のプリセットを選択し、**[削除]**をクリックします。

プリセットを指定してイメージを処理するには、ドロップダウン メニューから選択します。

ステップ 5: 処理画像を共有するには、 をクリックします。画像を公開可能なサービスの一覧が表示されます。

スタンドアロン版では、 印刷を行うこともでき、その場合は、 をクリックします。

ステップ 6: 処理したイメージを保存します。

- スタンドアロン版で作業する場合:

  をクリックすると、**[名前をつけて保存]**ダイアログボックスが開きます。ファイル名を入力し、ファイルの種類(**TIFF**、**BMP**、**JPEG**、**PNG**)を選択し、保存先フォルダを選択します。

- プラグイン版で作業する場合:

  をクリックして適用します。Refocus AI プラグインが終了し、画像がフォトエディターのワークスペースに表示されます。

  [ファイル] > [名前を付けて保存]コマンドを使用して**[名前を付けて保存]**ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダーの指定を行ないます。

リフォーカス AI モード

リフォーカス AI は、ピンぼけ画像の修正とカメラや被写体が動いたことによってぼけた画像の修正を行います。イメージ全体の処理を行うことに加え、特定の要素が目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。

リフォーカス AI モード

この処理モードでは、焦点調整オプションの **[モーションぼかしの修正 (AI)]** と **[画像を鮮明に]**の片方もしくは両方を適用できます。さらに必要な場合には、**[背景をぼかす]**機能も使用できます。

リフォーカス AI モードを使用してイメージのピントを補正する手順は以下の通りです。

ステップ1: 画像を読み込むと、写真はデフォルトのパラメーター値（***AKVIS Default AI*** プリセット）で処理され、処理結果は、プレビュー ウィンドウに即座に表示されます。

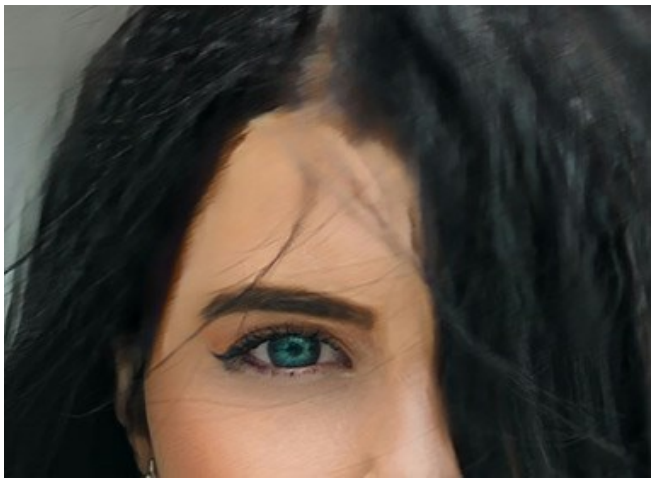
ドラッグして、他の部分での効果を分析/確認することができます。処理後のイメージと元のイメージを比較する場合は、イメージのプレビュー枠内をクリックしてください。 ボタンでオン/オフ（表示/非表示）を切り替えることができます。プレビュー枠のサイズは、**[環境設定]** で変更できます。

ステップ2: 最大限の結果を得るために、設定を調整します。

モーションぼかしの修正 (AI)

この AI モードは、十分に訓練されたニューラル ネットワークを使用して、ぼけた画像を修正します。このモードは、カメラ、もしくは被写体が動いたことによってぼけた画像の修正に特に有効です。

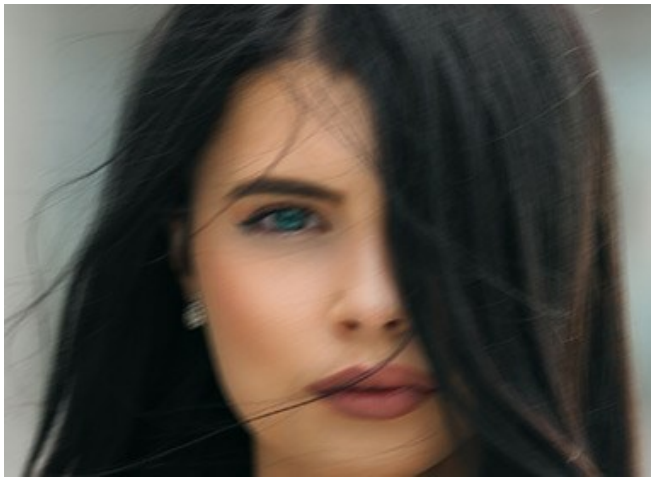
アーティファクトの除去（設定可能範囲は 0-30）: アーティファクト等、元の写真にはない不要なディテールが生成される可能性を抑えます。値が高い場合、ぼかしがかかった結果になることがありますのでご注意ください。



アーティファクトの除去 = 0

アーティファクトの除去 = 10

フォーカス (設定可能範囲は 2-9): ぼかしの除去と画像の鮮明度の改善。モーションぼかしのパラメーター値に応じて設定します。高いぼかし効果が適用されている場合は、このパラメーターの値も高く設定します。



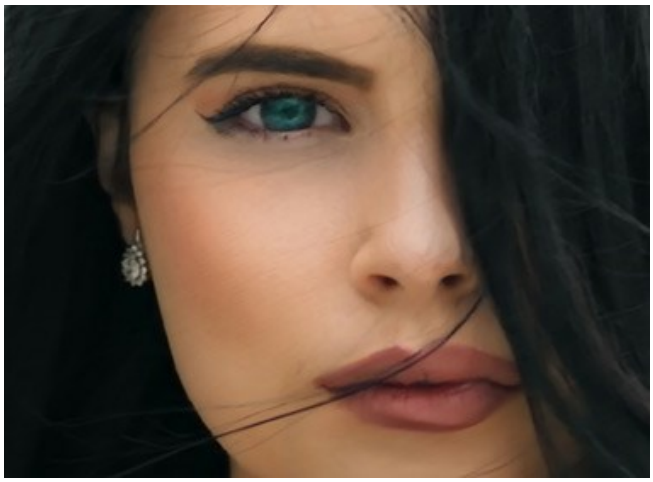
元のイメージ

フォーカス = 6

画像を鮮明に

様々なタイプのシャープ効果やぼかし効果を調整して、画像の鮮明度を回復させる画像処理メソッドです。

滑らかさ (設定可能範囲は 1-10): 滑らかさの度合いを指定する為のパラメーターです。値が高いほど、他のパラメーターの影響が強くなります。



滑らかさ = 1

滑らかさ = 10

ぼかし (カラー) (設定可能範囲は 1-10): このパラメーターは、色を同じ状態に揃えることにより、 色ぶち (フリンジング) やハローを取り除きます。1つ前で言及されているパラメーターとともに使用することにより、より効果的な結果を得ることができます。

ぼかし(カラー) = 1

ぼかし(カラー) = 10

詳細レベル (設定可能範囲は 0-50): イメージ内のディテールを強めます。高い値の場合、ノイズが生じることがあります。

詳細レベル = 0

詳細レベル = 50

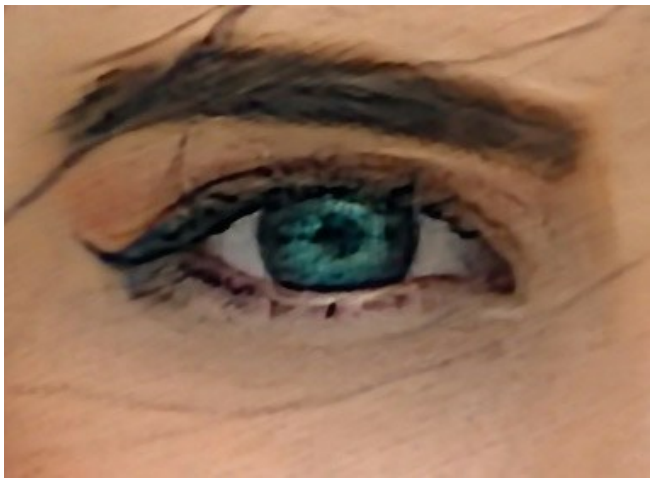
鮮明度 (設定可能範囲は 0-50): リフォーカス効果の強度を変更するためのパラメーターです。

鮮明度 = 0

鮮明度 = 50

ノイズの除去: 画像に生じてしまうデジタル ノイズ、粒子、アーティファクト(中間生成物)などを取り除きます。

[ノイズの除去]チェックボックスがオフ



[ノイズの除去]チェックボックスがオン

ステップ3: イメージの特定の領域のみを処理する場合は と を使用します。

注 意: この機能は、Home Deluxe版と Business 版でのみ利用できます。

フォーカス領域 : 青色鉛筆を使用して、リフォーカス処理を行う領域 (フォーカス範囲) のアウトラインを描きます。

背景領域 : 赤色鉛筆を使用して、フォーカスしない (ぼかす) 領域のアウトラインを描きます。

> **ヒント:** オブジェクトの周りは、*閉じた* (最初と最後をつなげる) アウトラインを描画してください。閉じていない場合、効果が描画した枠からはみ出て適用されることがあります。

[背景をぼかす] の[ぼかす]パラメーター (設定可能範囲は 0-1000) を調整します。赤で描画した領域をぼかします。このオプションを使用すると、*部分的なフォーカス (ピント調整)* 効果が得られます。

ぼかし = 0　　ぼかし = 200

消しゴム : ツールを使用し、描画した赤と青のストロークを削除します。このツールには、3つのモードがあります。

- すべてのストロークを消去
- 赤いストロークのみ消去
- 青いストロークのみ消去

サイズの変更は、イメージを右クリックした場合に表示されるポップアップメニューで行ないます。

ステップ4: をクリックして処理を開始します。処理を中断する場合は、進捗バーの右側の**[キャンセル]**ボタンをクリックします。

ステップ5: 変更したパラメーターの設定を**プリセット**として保存し、後で使用できます。プリセット名を入力し、**[保存]**をクリックします。

設定パネルに表示されるパラメーターの値のみを保存します。ツールを使って指定した領域を保存するわけではありませんので、ご注意ください。

逆ティルト モード

逆ティルト効果モードは、鮮明な部分が帯状に適用され、エッジ部分ではぼかしが徐々に適用され、スムーズな遷移が見られます。このモードは、写真内のオブジェクトがまるで「おもちゃ」のように見えます。外側の部分をぼかすので、オブジェクトがミニチュア模型のように見えるのです。プログラムによって、人間、建物、車の大きさを小さく変換しているように感じるでしょう。

実生活でこのような写真を撮るには、専用のカメラレンズを使う必要があります。しかし、**AKVIS Refocus AI**を使えば、どんな写真もミニチュアの世界に変身させることができます。

逆ティルト効果モード

効果を適用するには、以下の手順を実行します。

ステップ1: プレビューオプションを調整します。

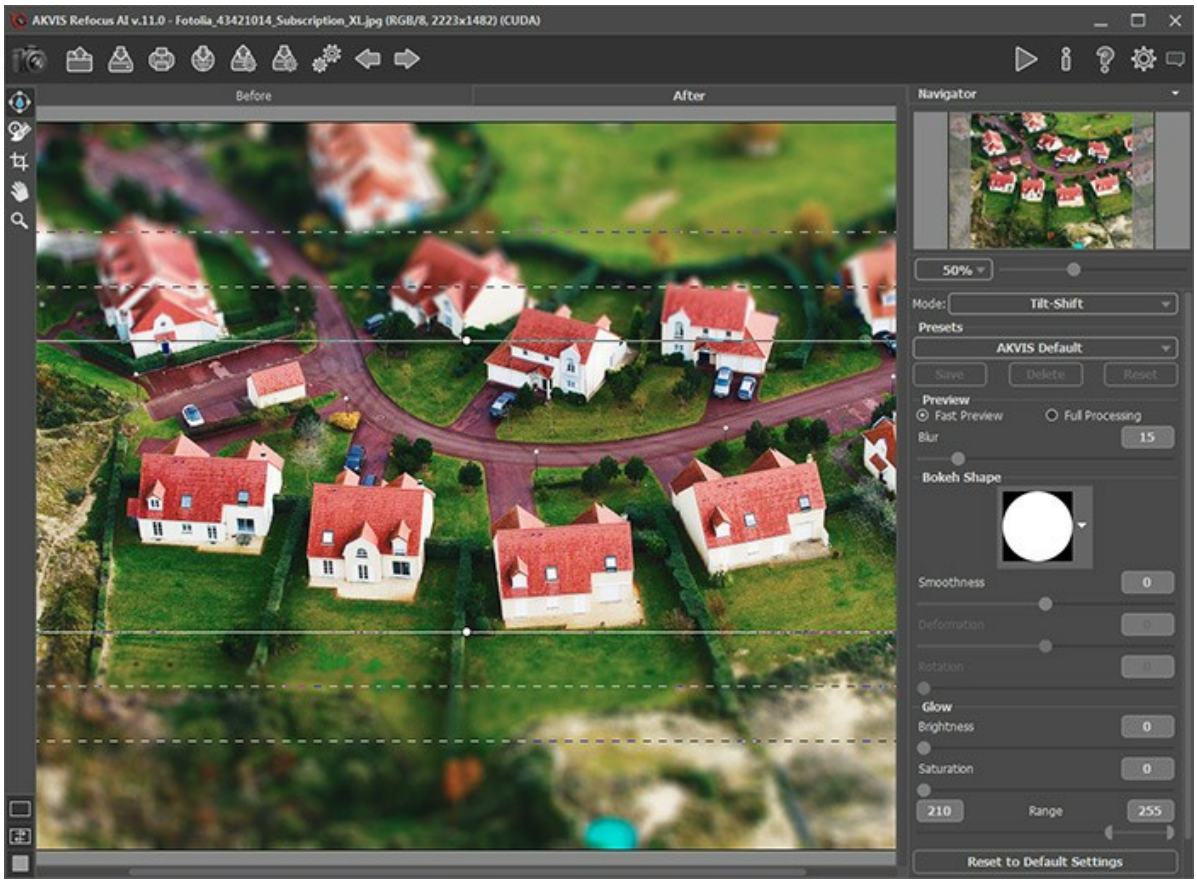
クイック プレビュー: このオプションは、設定を元のイメージを小さくしたものでプレビューを表示します。

フルサイズ処理: 指定したパラーメーター設定の処理をイメージサイズを変えずにフルサイズで行います。

効果領域またはパラメーターを変更する度に自動的に処理が開始されます。

パラメーターを調整した場合、フルサイズ処理を実行して、各種設定が最適かどうかを確認することをお勧めします。 **[フルサイズ処理]**オプションを選択するか、 をクリックして、イメージ全体の処理を実行します。

ステップ2: ぼかし領域ツール を有効にし、**[処理後]**タブに表示される効果領域のマーカーを調整します。

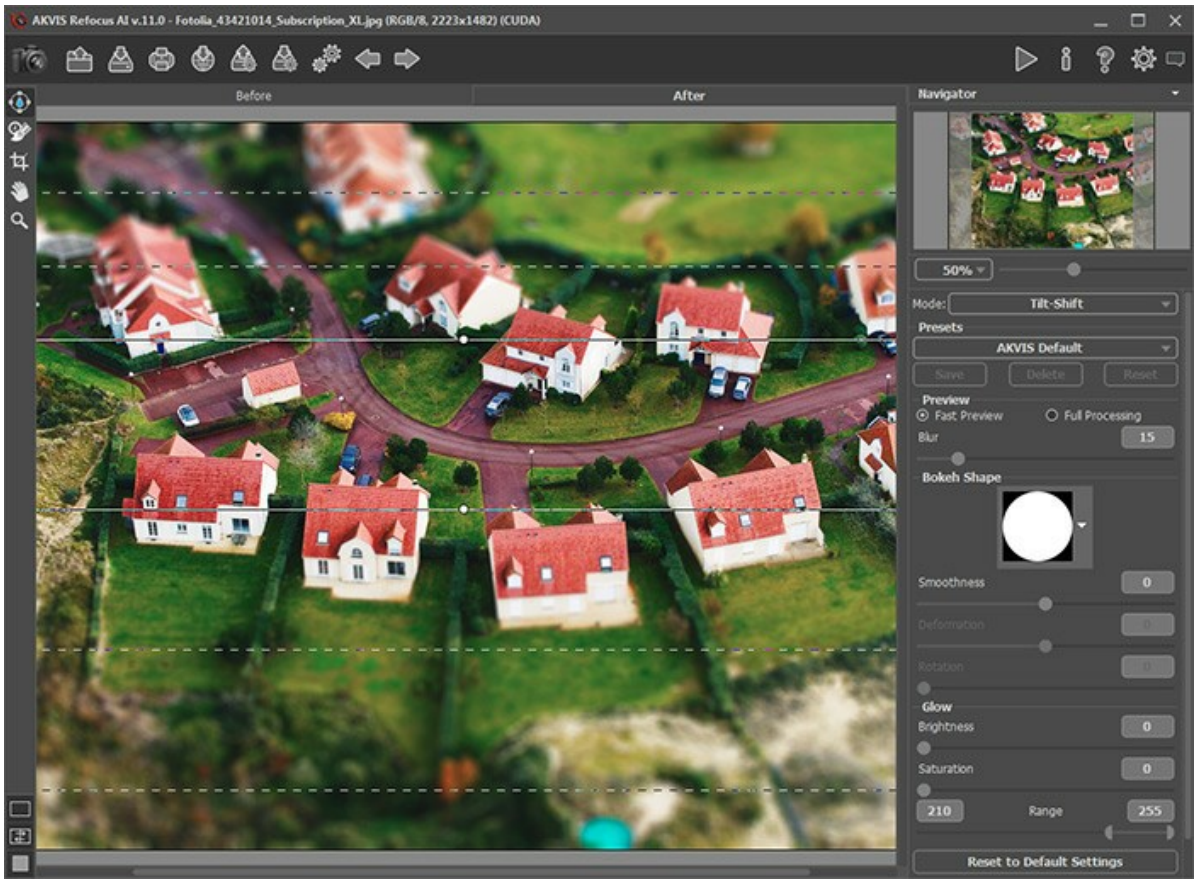


- **実線**: ぼかしを適用しない領域を指定します。
- **丸のマーカー**: 効果領域の回転に使用します。
- **内側の破線**: ぼかし領域とぼかさない領域の遷移の滑らかさを調整します。
- **外側の破線**: ぼかし領域で、最もぼかす領域を指定します。

効果領域を移動させる場合、ぼかしが適用されていない領域にカーソルを移動(カーソルが、4方向の矢印) に変化)し、ドラッグします。

いずれかの領域のサイズを変更する場合、該当する領域の線にカーソルを移動(カーソルが両方向の矢印) に変化)し、ドラッグします。

領域を回転するには、線上のマーカーにカーソルを移動(カーソルが丸みを帯びた両方向の矢印) に変化)し、ドラッグします。



ヒント: ラインを隠すには、 ツールを無効にします。

ステップ3: すぐに利用可能な(選択するだけ)**プリセット**を使用するか、パラメーターを手動で調整します。

[ぼかし]パラメーターは、ぼかし効果の強度を設定します。値が高いほど、ぼかしが強くなります。

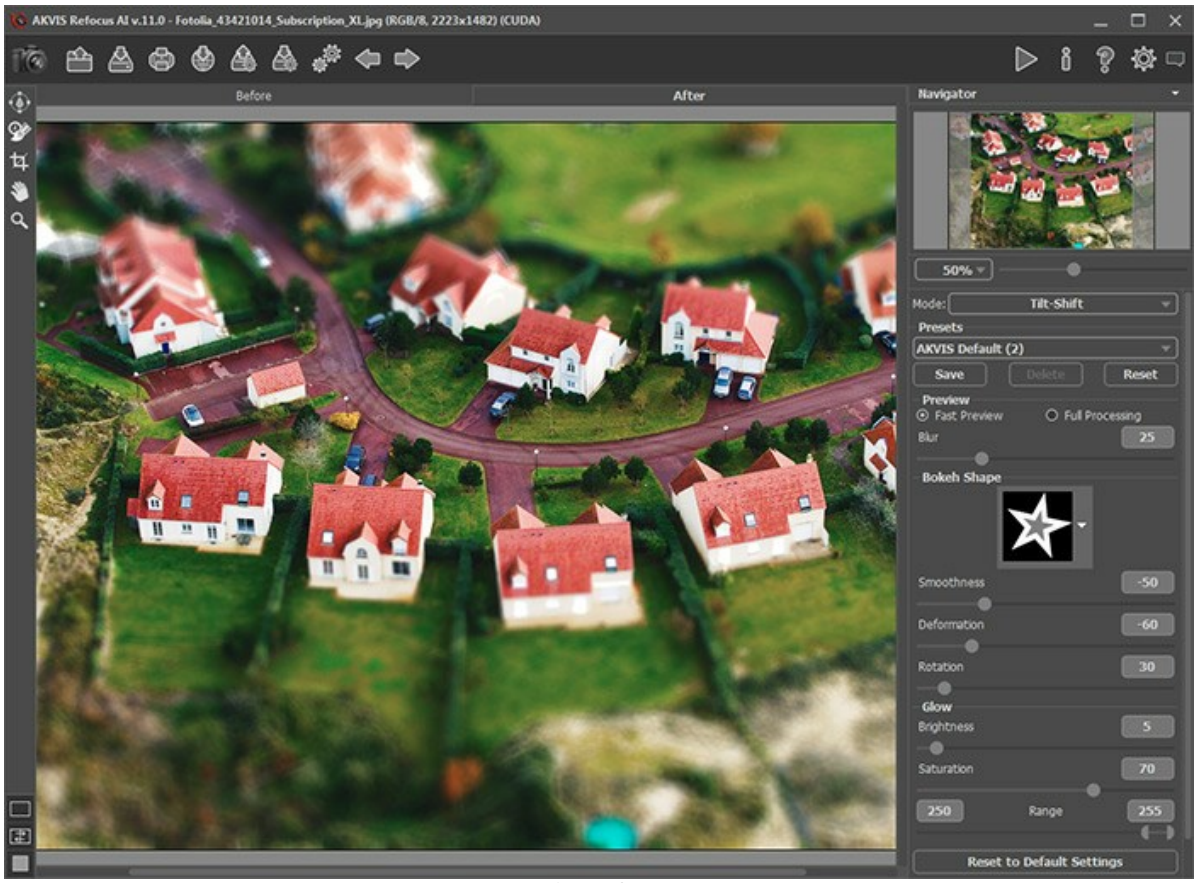
ぼかし = 25

ぼかし = 50

ステップ4: ぼかし領域内の光源（光の点）は明るいグレアとなります。デフォルトの設定では、グレアの形が丸いディスクのようです。

形を変えるには、**ぼけ味（形）**セクションのパラメーターを調整します。

[グロー]パラメーターを使用して、光源（光の点）の 明るさを向上させ、彩度を上げることができます。



逆ティルト効果

ステップ5: をクリックすると、イメージ全体の処理が開始されます。

ステップ6: お好みの設定をプリセットとして保存し、後で使用することができます。

注: プリセットは、**設定パネル**のパラメーターの値を保存するのであって、効果領域を保存するわけではありません。

アイリスぼかしモード

アイリスぼかしモードは、被写体のピントを維持しつつ、背景をぼかすことにより、浅い被写界深度効果が適用されます。**逆ティルト効果**モードとは異なり、鮮明にする領域の形(楕円、長方形)を指定できます。

プロのカメラマンであれば、この効果を得るために開口の大きさを調整したり、レンズを変えたりします。しかし、**AKVIS Refocus AI**を使えば、ぼかした背景がワンクリックで作成できます。

アイリスぼかしモード

注 意: このモードは、Home Deluxe版と Business版でのみ利用できます。ライセンスの比較はこちらを参照してください。

効果を適用するには、以下の手順を実行します。

ステップ1: プレビューオプションを調整します。

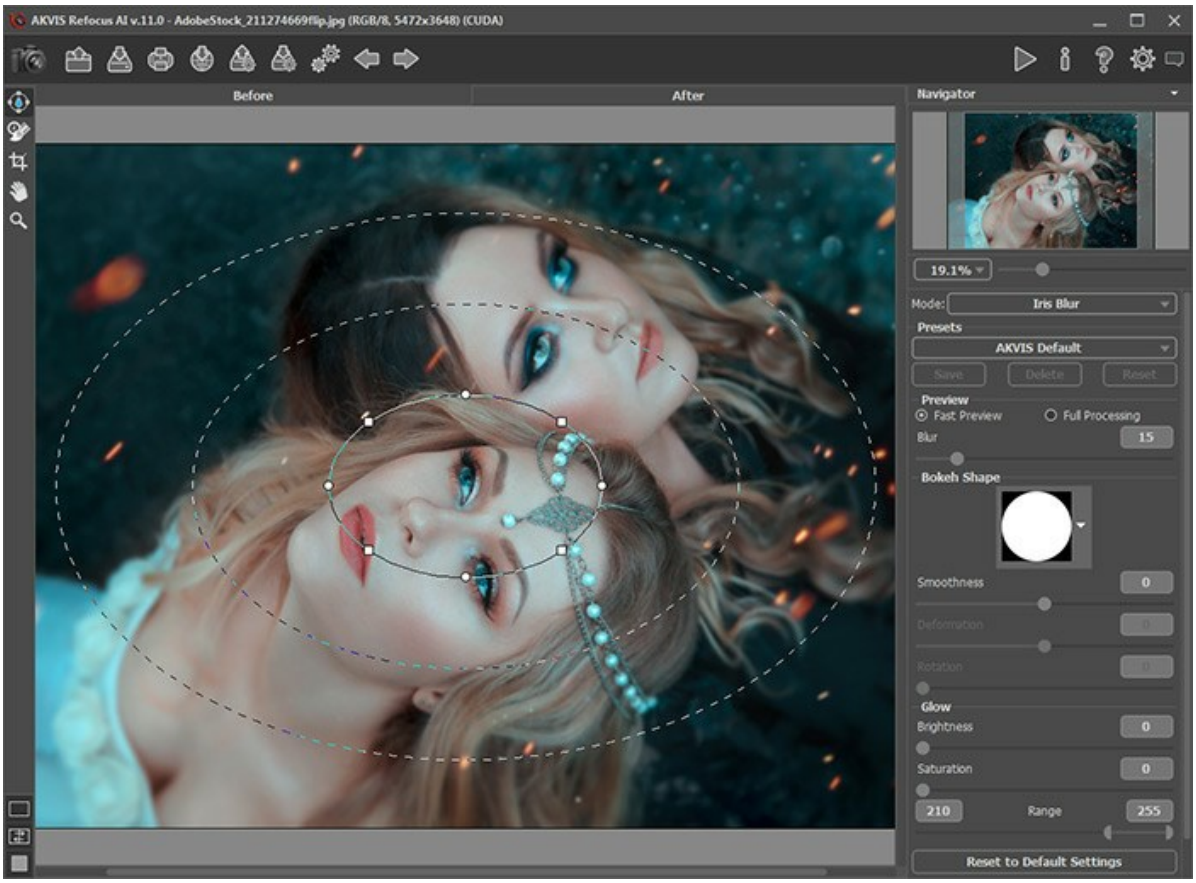
クイック プレビュー: このオプションは、設定を元のイメージを小さくしたものでプレビューを表示します。

フルサイズ処理: 指定したパラーメーター設定の処理をイメージサイズを変えずにフルサイズで行います。

効果領域またはパラメーターを変更する度に自動的に処理が開始されます。

パラメーターを調整した場合、フルサイズ処理を実行して、各種設定が最適かどうかを確認することをお勧めします。**[フルサイズ処理]**オプションを選択するか、をクリックして、イメージ全体の処理を実行します。

ステップ2: ぼかし領域ツール を有効にし、**[処理後]**タブに表示される効果領域のマーカーを調整します。



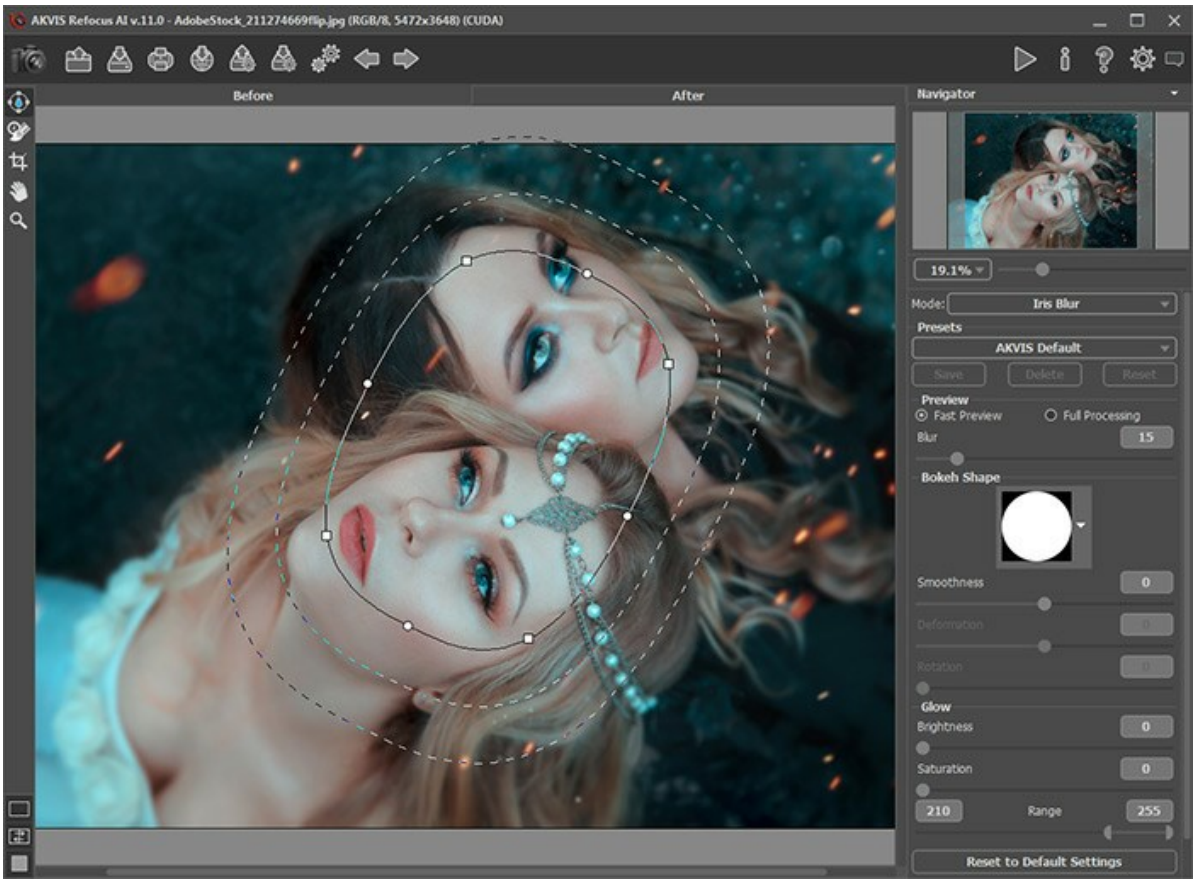
- **実線**: ぼかしを適用しない領域を指定します。
- **丸のマーカー**: 効果領域の回転、拡大、縮小に使用します。
- **四角のマーカー**: 楕円形の形を変更できます。
- **内側の破線**: ぼかし領域とぼかさない領域の遷移の滑らかさを調整します。
- **外側の破線**: ぼかし領域で、最もぼかす領域を指定します。

効果領域を移動させる場合、ぼかしが適用されていない領域にカーソルを移動 (カーソルが、4方向の矢印 ✥ に変化) し、ドラッグします。

いずれかの領域のサイズを変更する場合、該当する領域の線にカーソルを移動 (カーソルが両方向の矢印 ↔ に変化) し、ドラッグします。

領域を回転、引き伸ばし、圧縮するには、線上のマーカーにカーソルを移動(カーソルが丸みを帯びた両方向の矢印 ↻ に変化)し、ドラッグします。

効果領域の形を変更するには、四角のマーカーをドラッグします。



ヒント: ラインを隠すには、 ツールを無効にします。

ステップ3: すぐに利用可能な（選択するだけ）**プリセット**を使用するか、パラメーターを手動で調整します。

[ぼかし]パラメーターは、ぼかし効果の強度を設定します。値が高いほど、ぼかしが強くなります。

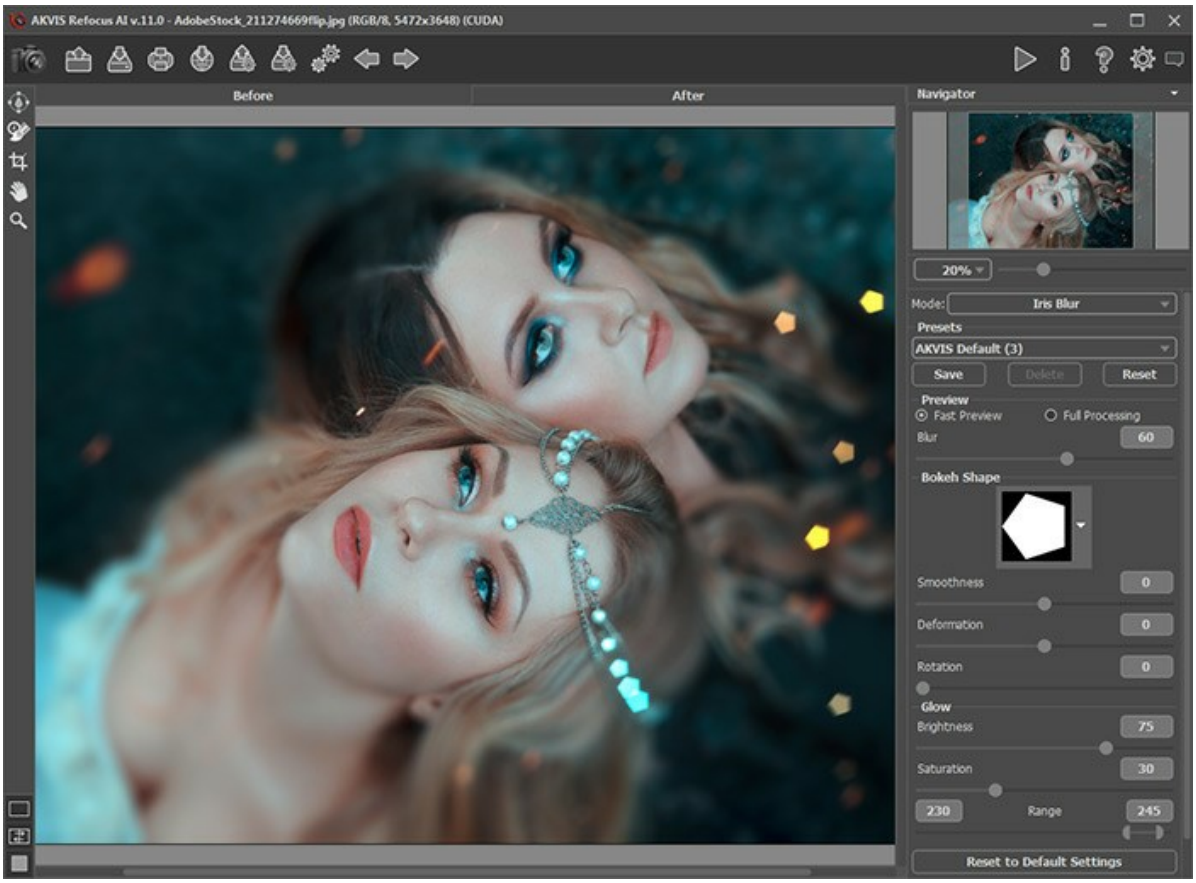
ぼかし = 25

ぼかし = 50

ステップ4: ぼかし領域内の光源（光の点）は明るいグレアとなります。デフォルト設定でのグレアは、ディスクのような円形になります。

ぼかし領域内の光源については、**[ぼけ味]パラメーター**を調整します。

[グロー]パラメーターを調整することにより、光源の明るさや彩度に変化を与えることができます。



アイリスぼかし効果

ステップ5: をクリックすると、イメージ全体の処理が開始されます。

ステップ6: お好みの設定をプリセットとして保存し、後で使用することができます。

注: プリセットは、**設定パネル**のパラメーターの値を保存するのであって、効果領域を保存するわけではありません。

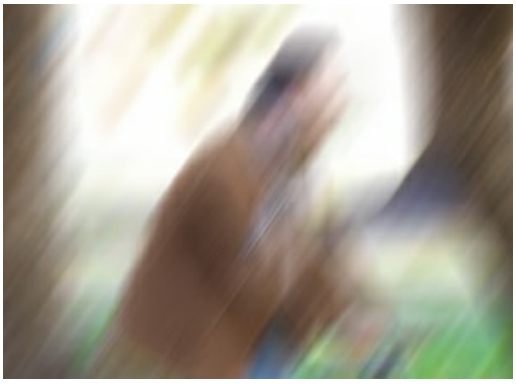
モーションぼかし

モーションぼかしモードは、カメラの直線的な動きをシミュレートします。

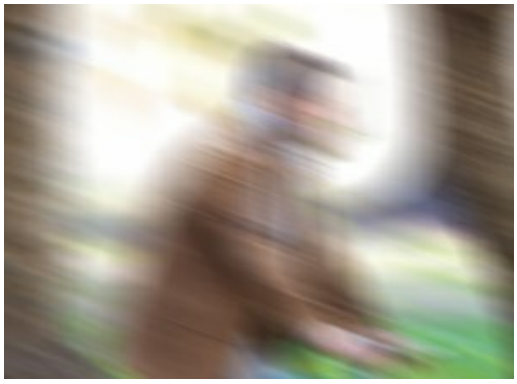
モーションぼかし

パラメーター:

角度 (設定可能範囲は 0-180): このパラメーターは、イメージに対して効果が広がるラインの傾斜角度を設定します。設定可能な値は 0-180度です。値が 0 または 180 の場合、水平方向のぼかしが適用されます。値が 90 の場合、垂直方向のぼかしが適用されます。

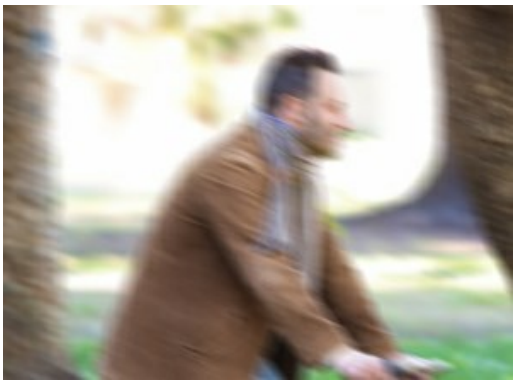


角度 = 55



角度 = 160

範囲 (設定可能範囲は 1-500): このパラメーターは効果の適用領域をピクセル単位で定義します (イメージの全ポイントに対するピクセル)。



範囲 = 100

範囲 = 300

イメージの特定の領域のみを処理する場合は と を使用します。

この機能は Home Deluxe および Business ライセンスでのみ利用可能です。

放射状ぼかし

放射状ぼかしモードは、ある点を中心に領域をぼかし、カメラのズームや回転のような効果を与えます。

放射状ぼかし

ぼかしの中心 セクションでは、放射状ぼかしの中心点の位置を指定します。位置を指定するには、アイコン を有効にし、画像内をクリックするか白いマーカーを任意の点に移動させます。指定されている中心の座標が、**X** と **Y** の各フィールドに表示されます。

放射状ぼかしには 2種類あります。

ズーム:このモードでは、中心から離れるような方向に向かってぼかす効果を加えます。

スピン:このモードでは、イメージの中心を軸としてカメラを回転したような効果を模倣し、輪状にぼかしたような結果となります。

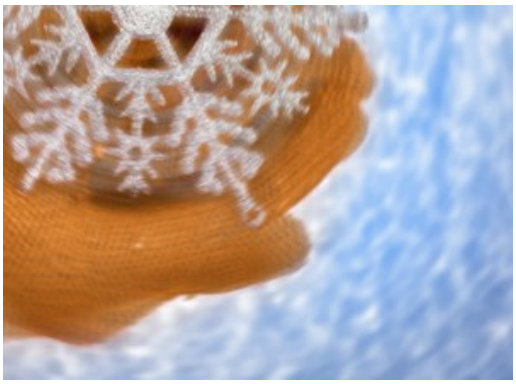
放射状ズームぼかし

放射状スピンぼかし

以下のパラメーターを使用して、ぼかす領域の調整を行います。

ハイライト (設定可能範囲は 1 から -100):明るい領域のぼかし度合いを指定します。

シャドウ (設定可能範囲は 1 から -100):暗い領域のぼかし度合いを指定します。



明るい領域でのぼかし

暗い領域でのぼかし

イメージの特定の領域のみを処理する場合は と を使用します。

この機能は Home Deluxe および Business ライセンスでのみ利用可能です。

ぼけ味効果

ぼけ味　とは、写真内のピンボケした領域のことを指します。ぼけ味は、かすかな光をレンズがどのようにレンダリングするかによって決まります。　多くの場合、アーティスティックな効果、つまり背景をぼかして被写体を目立たせる視覚効果を得るために使用されます。 撮影時にこの効果を得るには、開口の形が結果を左右します。様々な形(例えば星など)でアーティスティックな背景ぼかし効果が得られます。

AKVIS Refocus AIを使うと、様々な形でのぼけ味を、どんな写真にも与えることができます。

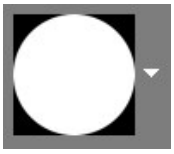
注 意: ぼけ味効果が利用できるのは、逆ティルト効果モードとアイリスぼかしモードです。

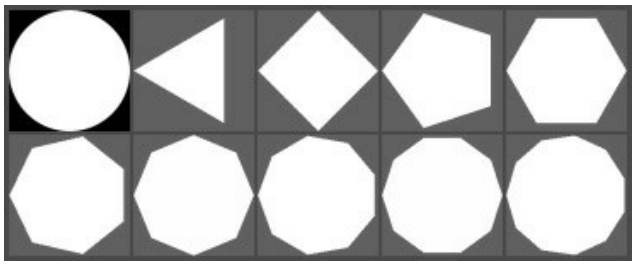
ぼけ味効果

パラメーターを使用して、ぼかし領域内の光の点を調整できます。

[ぼけ味 (形)]パラメーター グループ

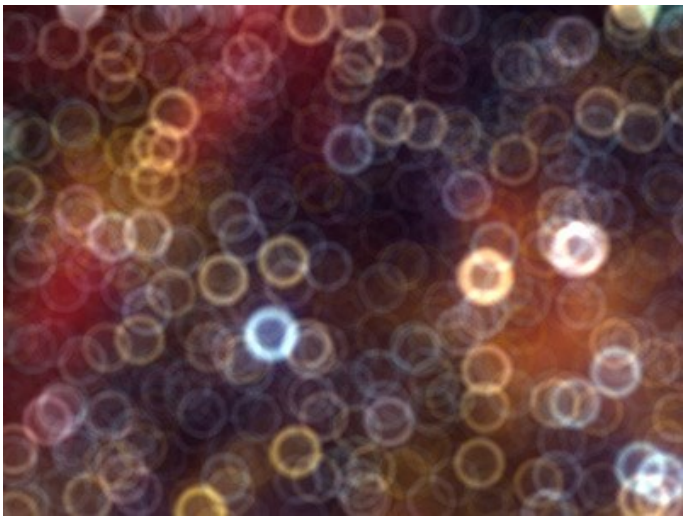
形: **設定パネル**の四角のボタンをクリックして、形の一覧から形を指定します。ぼかし領域内の光源 (光の点) はすべて、指定した形に変化します。





ぼけ味 (形)

滑らかさ (設定可能範囲は -100 から 100): パラメーターの値が 0 の場合、光の点は設定された形で表示されます。値が高いほど光の点の輪郭がぼかされます。値を 0 よりも下げていくと、光の点の中央部分がぼやけ透明になります。最も低い値の場合、輪郭のみが表示されます。



滑らかさ = -75

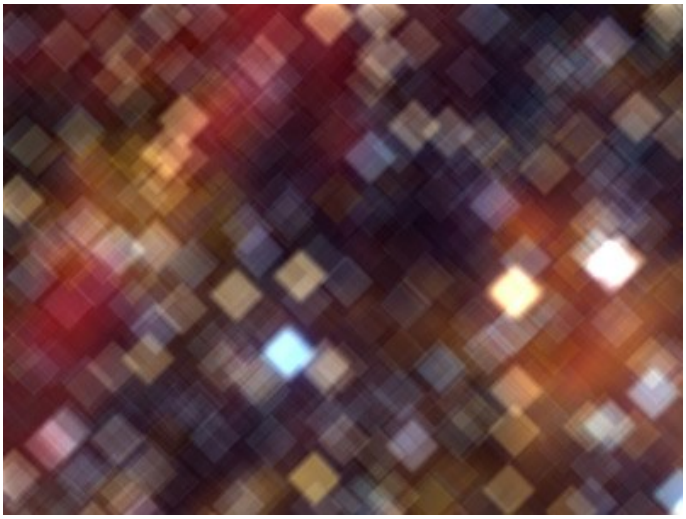
滑らかさ = 75

変形 (設定可能範囲は -100 から 100): パラメーターの値が 0 に設定されている場合、光源のぼかしは多角形の形です。値が高いほど、多角形のエッジが外側に向かってカーブし、最も高い値では最終的に円の形になります。値が低いほど多角形のエッジが内側に戻されるので星のような形になります。

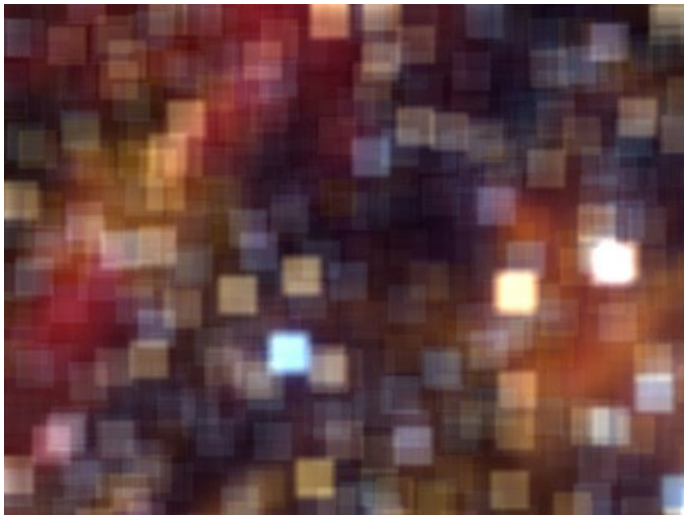
変形 = -50

変形 = 50

回転 (設定可能範囲は 0 から 360): 多角形の形をした光の回転角度 (中心角) を指定します。



回転 = 0



回転 = 45

注意: 最初の形 (円) では、**[変形]**と**[回転]**のパラメーターが無効になっています。

[光彩]パラメーター グループ

明るさ (設定可能範囲は 0 から 100): パラメータの値を上げると、光点が明るくなります。

明るさ = 25

明るさ = 75

彩度 (設定可能範囲は 0 から 100): このパラメーターは、光の点の彩度を高めます。このパラメーターは、[明るさ]パラメーターと関連しています。[明るさ]パラメーターの値が高いほど、色の彩度が高くなります。

彩度 = 25

彩度 = 75

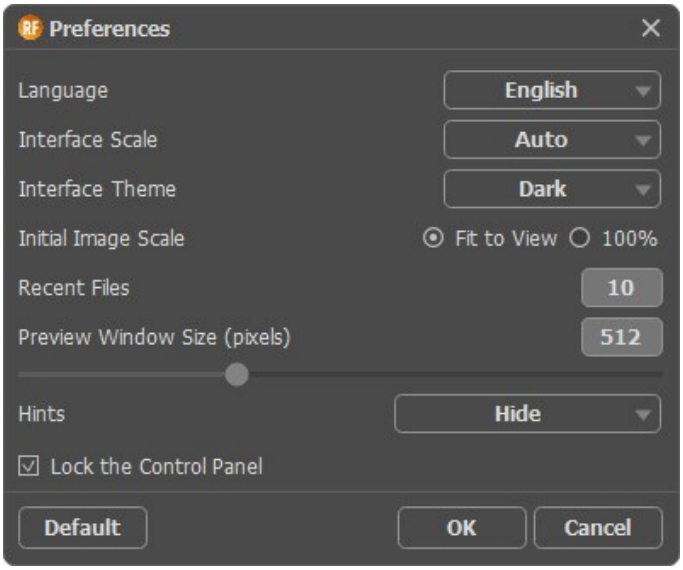
範囲 (設定可能範囲は 0 から 255): ここで指定する明るさの範囲内の光の点に対して、最初の 2つのパラメーターが適用されます。

範囲 = 200/225

範囲 = 240/250

環境設定

[環境設定]ダイアログボックスを開きます。



- **言語**: ドロップダウンメニューから目的の言語を選択して変更します。
- **インターフェイスの拡大/縮小**: インターフェイス要素のサイズを選択します。**自動**に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- **インターフェイス テーマ**: インターフェイスのテーマを選択します。**明るい** または **暗い**の2種類のテーマがあります。
- **初期の比率**: このパラメーターは、開いたイメージを**イメージ ウィンドウ**に拡大/縮小する方法を設定します。このパラメーターは2つの値のいずれかを設定します。

  - **[画面に合わせる]**: **イメージ ウィンドウ**に全体が表示されるように、拡大/縮小率が調整されます。

  - **[100%]**を有効にした場合、イメージは拡大/縮小されません。[100%]に設定すると、ほとんどの場合イメージの一部のみウィンドウに表示されます。

- **[最近使ったファイル]**（スタンドアロン版のみ）:最近使ったファイルの表示数を指定します。時間でソートされた使用ファイルの一覧は、 を右クリックすると表示されます。設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- **プレビューウィンドウサイズ**: **プレビューウィンドウ**のサイズを256x256 から 1024x1024 ピクセルの間で自由に設定できます。デフォルトの設定では、512に設定されています。つまり、プレビュー領域の縦横比が512×512ピクセルに設定されています。**プレビューウィンドウ** は、リフォーカスモードでのみ利用できます。
- **ヒント パネル**: ヒントの表示方法に関する設定は以下の通りです。

  - **設定パネルの下**。
  - **イメージウィンドウの下**。
  - **隠す**。

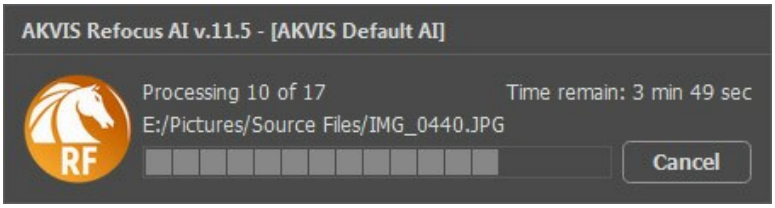
- **[コントロールパネルを常に表示]**チェックボックス: トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。つまり、このチェックボックスがオンの場合、パネルは常に表示されます。パネルの固定を解除するには、このチェックボックスをオフにします。オフにすると、パネル中央の三角をクリックしてパネルの表示/非表示を切り替えられます。三角にマウスオーバーすると、最小化されたパネルが表示されます。

[環境設定]ウィンドウでの変更内容を保存するには、**[OK]**をクリックします。

既定値に戻す場合は**[既定値]**をクリックします。

バッチ処理

AKVIS Refocus AI は、時間の節約となる**バッチ処理**機能に対応しています。同じ設定で、ピンぼけした一連の（複数の）画像を自動的に編集することができます。プリセットを選択し、写真がたくさん保存されているフォルダーに適用するだけで、後はプログラムが自動的に処理を行ってくれます。



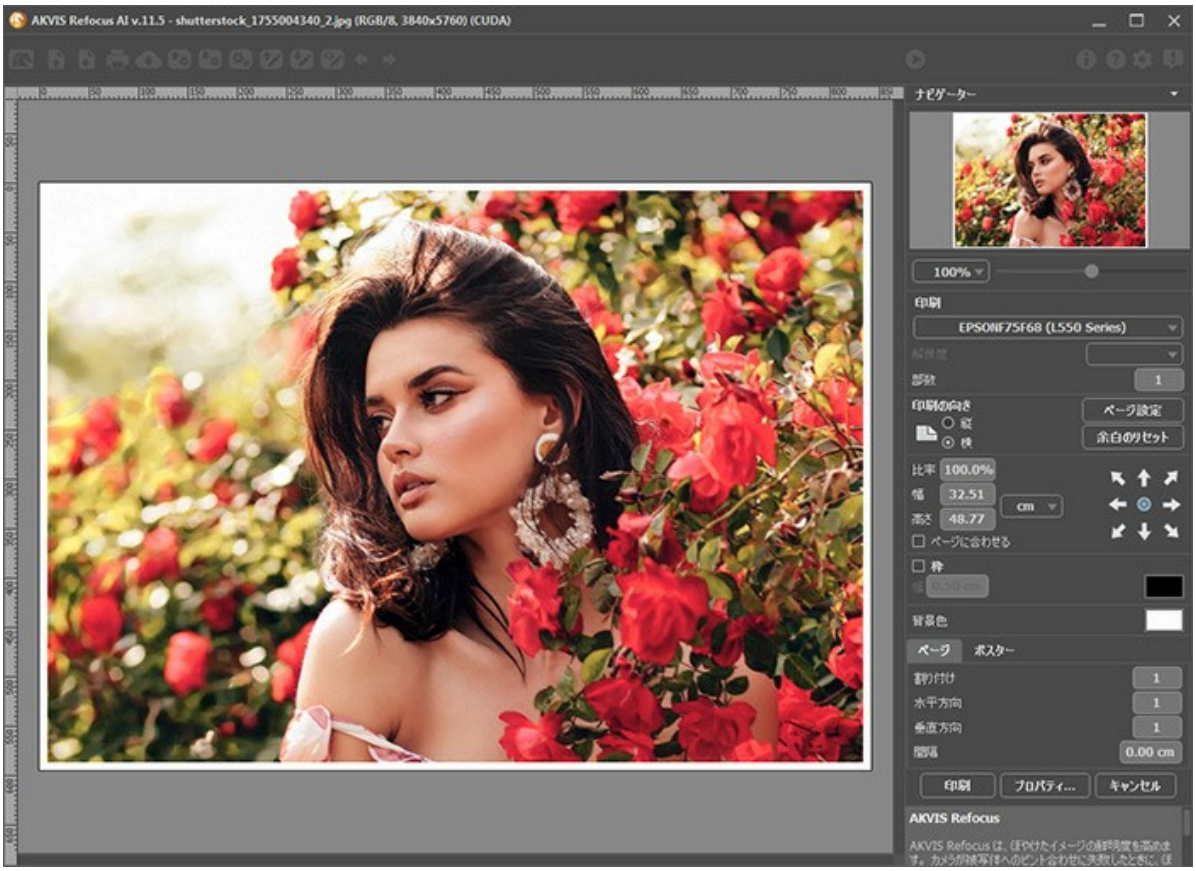
これまでに、バッチ処理機能を使ったことがないとしても、操作方法は簡単に覚えられます。

AKVIS Refocus AI のスタンドアロン版をご利用の場合は、こちらの手順をご覧ください。

Refocus AI のプラグイン版を Photoshop で使用する場合、こちらのチュートリアルをご覧ください。

印刷

AKVIS Refocus AI のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。 を押すと **[印刷]**オプションが表示されます。



AKVIS Refocus AI での印刷オプション

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択し、希望の解像度と部数を指定します。

[印刷の向き]では、紙の方向を設定します。**[縦]**または**[横]**から選択します。

[ページ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

[余白のリセット]をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、**[比率]**、**[幅]**、**[高さ]**、**[ページに合わせる]**等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、[比率]に値を直接入力するか、**[幅]**と**[高さ]**に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、**[ページに合わせる]**チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

[枠]を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、**[背景色]** を変更できます。

[ページ]タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。

- **[割り付け]**: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- **[水平方向]** と **[垂直方向]**: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- **[間隔]**: イメージ同士の間隔を指定します。

[ポスター]タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。

ポスター印刷

- **[ページ]**: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- **[のりしろ]**: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- **[切り取り線]**: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- **[ページ番号の表示]**: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**[印刷]**ボタンをクリックします。
変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

[プロパティ...]ボタンをクリックすると、システム ダイアログボックスが表示され、詳細な設定を行ったり、印刷を行ったりできます。

おもちゃの世界

逆ティルト効果は、実物大のオブジェクトや風景がおもちゃのようにミニチュアに見える効果です。通常なら、特殊なレンズで撮影する必要がありますが、**AKVIS Refocus AI**を使って同じ効果を得ることができます。

良い結果を得るには、被写体や風景を数メートル上から撮影した写真を使用することをお勧めいたします。建物、人、車など、小さな被写体があることも大切です。空は写っていないものを選びます。

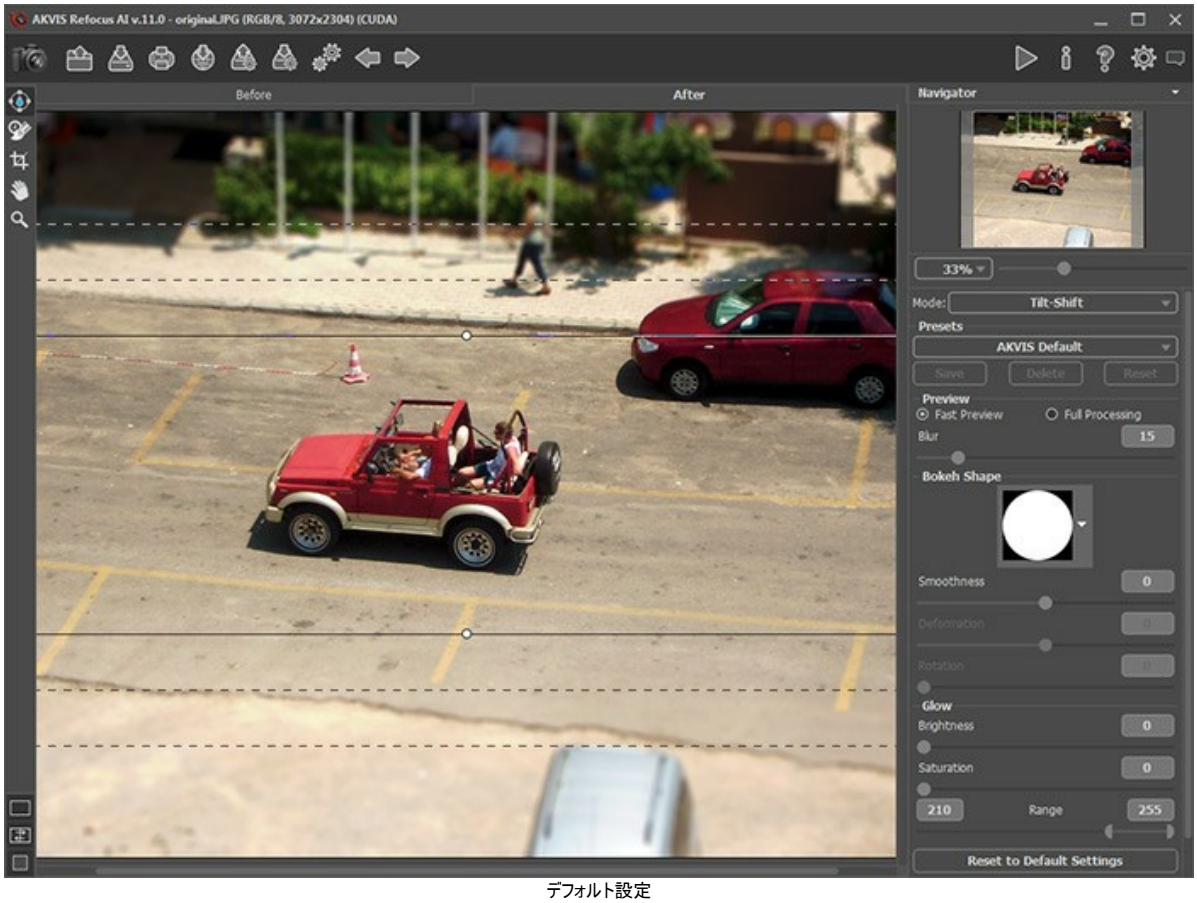
この操作例では、逆ティルト効果を適用したイメージを**AKVIS Refocus AI**で作成する2つの方法を紹介します。2つの方法とは**逆ティルト効果**モードを使う方法と**リフォーカス**モードを使う方法です。

方法1: **逆ティルト効果**モードを使用してのイメージを処理します。

元のイメージ

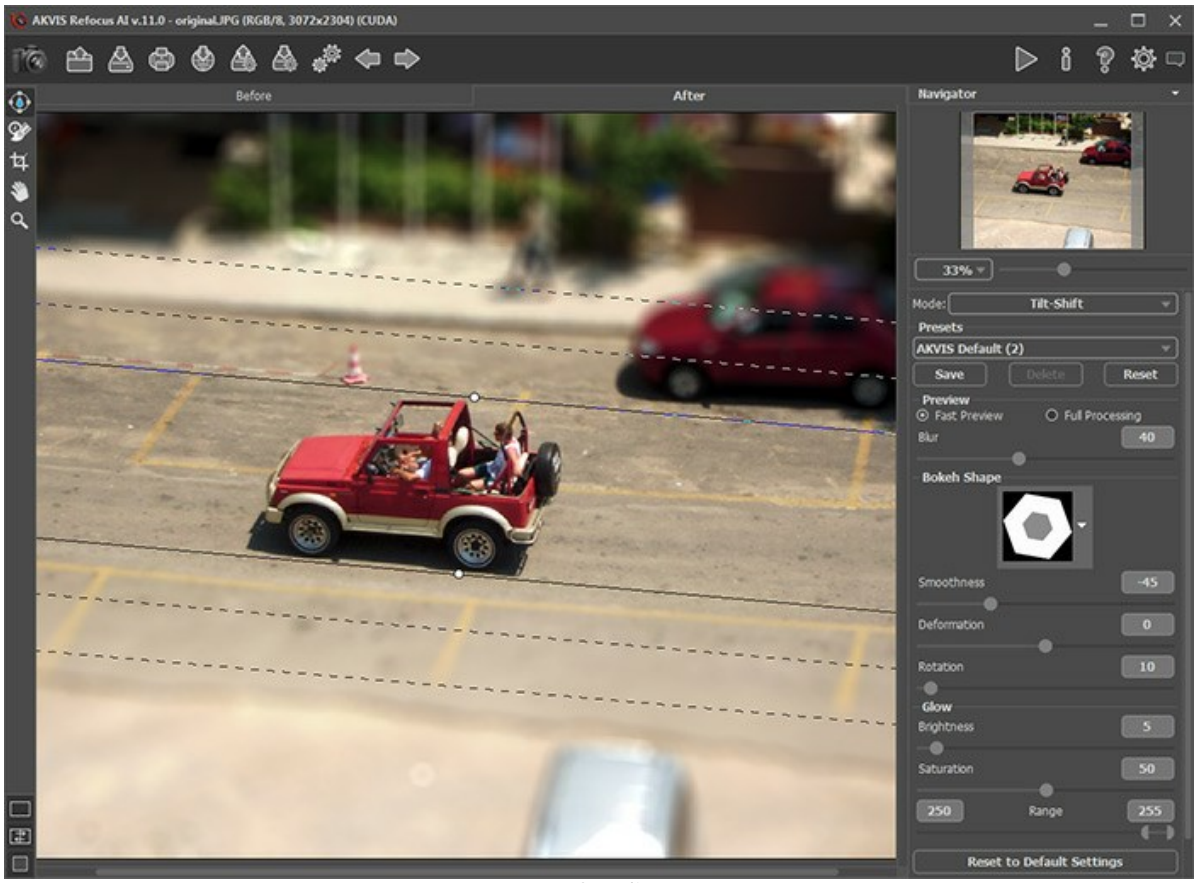
結果

ステップ1: **設定パネル**のドロップダウンメニューから**逆ティルト効果**モードを選択します。
ステップ2: ツールを有効にし、ぼかし領域の設定します(表示されるマーカーを調整)。



デフォルト設定

ステップ3: すぐに利用可能な(選択するだけ)プリセットを使用するか、パラメーターを手動で設定します。



設定の調整

その結果は次のようになります。

処理結果:逆ティルト効果

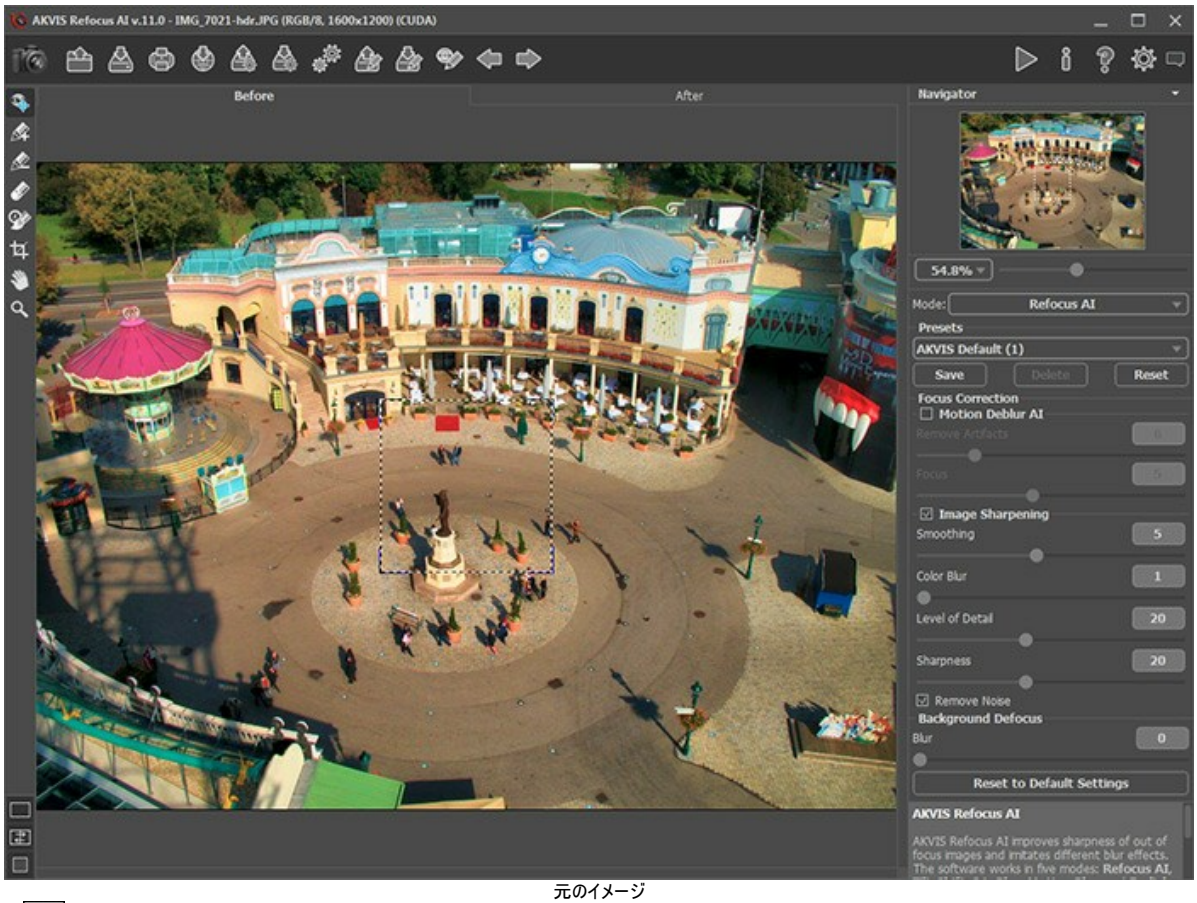
方法2: リフォーカス **AI**モードを使用してイメージを処理します。

今回は、観覧車から撮影した小さな広場の写真を使用します。

元のイメージ

結果

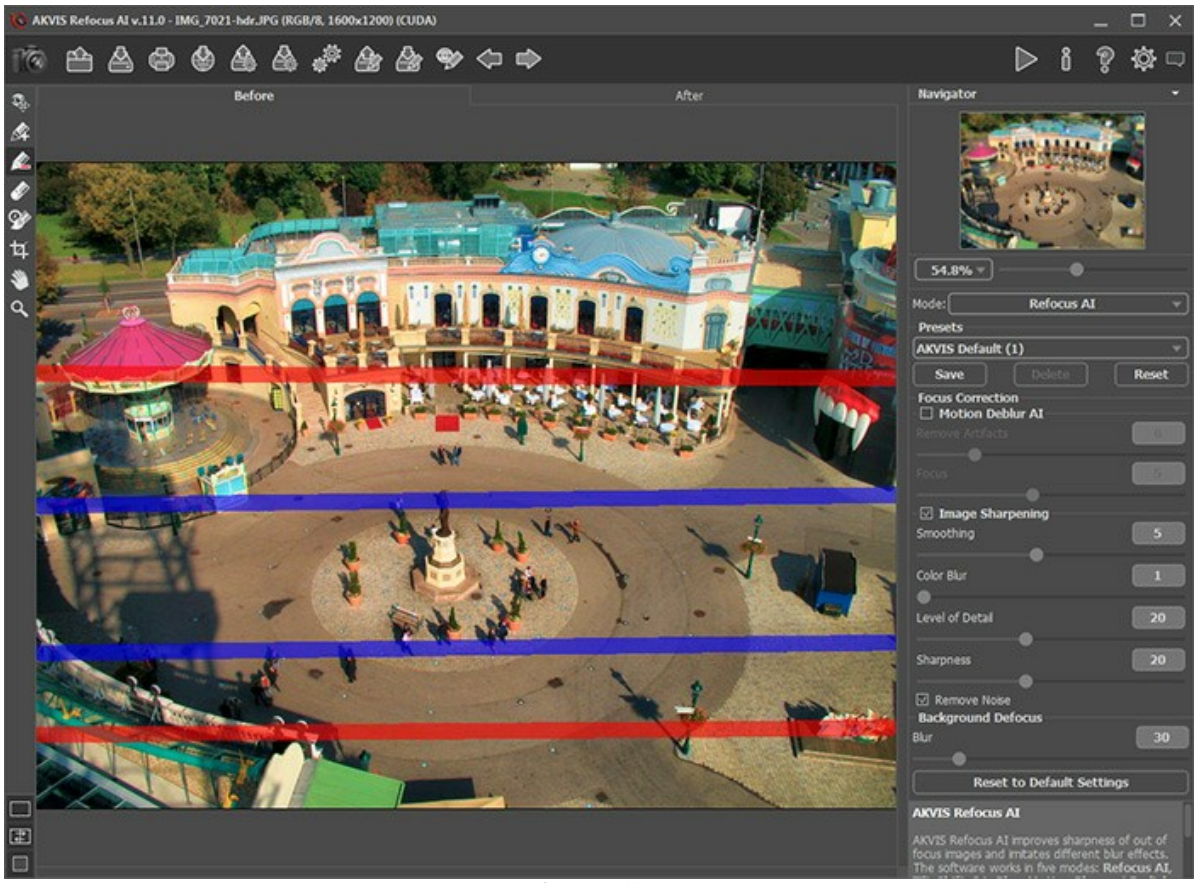
ステップ1: 設定パネルのドロップダウンメニューから**リフォーカス AI**モードを選択します。



元のイメージ

ステップ2: を有効にし、より鮮明にする部分を青いラインで囲み(はさみ)ます。

次に を有効にし、ぼかす領域を赤いラインで囲み(はさみ)ます。



赤いラインを描画

ステップ3: パラメーターを調整します。**[ぼかし]**の値を最大にします。
ステップ4: をクリックして、イメージの処理を開始します。

その結果は次のようになります。

リフォーカスモードを使用した逆ティルト効果

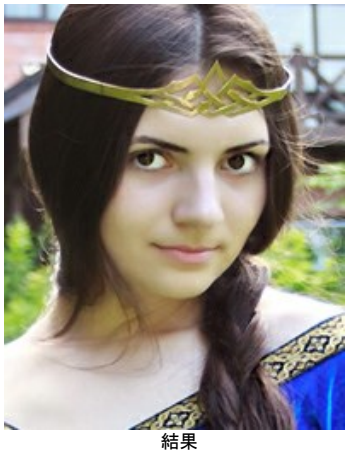
このように、**AKVIS Refocus AI**を使って、簡単に**逆ティルト**効果を作り出すことができます!

惹きつけられる瞳

AKVIS Refocus AI は、ピンボケ写真を鮮明な写真に修整するためのソフトです。写真が十分鮮明であると思う場合でも、目など部分的に修整を行うことができます。このように吸い寄せられるような目線によってなにが起きるかは誰にもわからないものです...

AKVIS Refocus AI を使って部分指定のツールを使ったピントの調整を簡単に作成できます!

元のイメージ


結果

ステップ1: **AKVIS Refocus AI** を起動させ、 をクリックして、不思議な笑みを浮かべる王女の写真を開きます。せっかくの美しい顔がピンボケ写真で台無しになってしまっています。

元のイメージ

ステップ2: プレビュー ウィンドウを使って、色をより鮮明かつ印象的にするため、またイメージ全体を鮮明にするための最適なオプションを選択することができます。

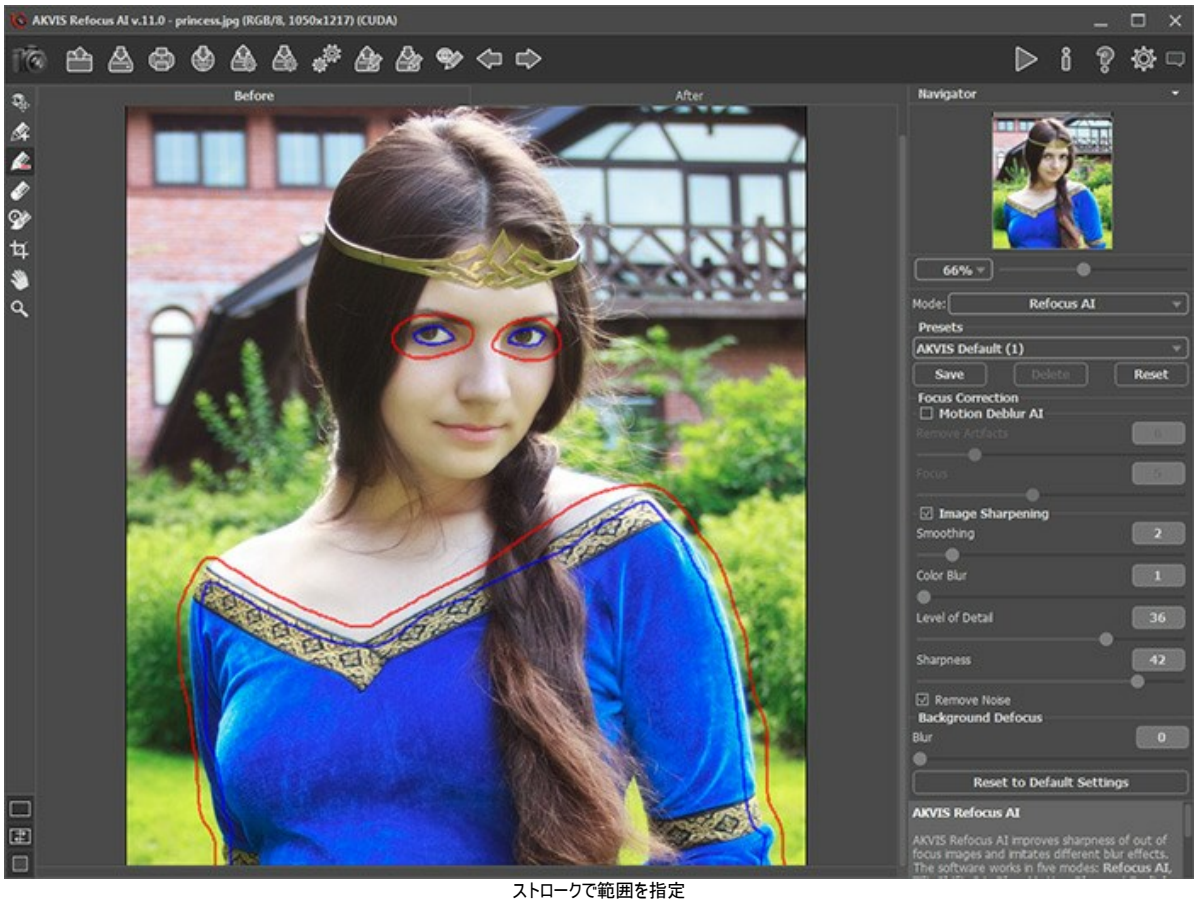
をクリックして、イメージの処理を開始します。

処理前

処理後

ステップ3: 彼女と共に背景の鮮明度の悪さは、写真全体の印象を幾分損ねています。目にのみフォーカスし、かつドレスの色を取り戻すには、処理範囲の設定を変更します。処理を行う範囲を ツールの青ペンで、処理を行わない範囲を ツールの赤ペンで囲みます。さらに、ドレス(特にドレスの柄)をより鮮明にするために、ドレス部分もツールを使って選択します。

残りの部位分は少しぼかすこともできます。 今回、この操作例ではぼかしを加えていません(**ぼかし** = 0)。



ストロークで範囲を指定

をクリックして、イメージの処理をもう一度実行します。処理結果はとても自然で美しいものになりました。

処理結果

AKVISプログラム

AKVIS AirBrush — エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 詳細情報

AKVIS Artifact Remover AI — JPEG 圧縮画像の補整

AKVIS Artifact Remover AI は、AIアルゴリズムを使用して、JPEG 圧縮アーテファクトを取り除き、圧縮した画像本来の品質に補整します。このソフトウェアは、無料で利用できます。ホームユーザーにも上級ユーザーにも活用いただけるツールです。 詳細情報

AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。 写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。 ArtSuiteは、いくつかの基本的な効果が用意されており、効果を適用したバージョンを無限に作成できます。 詳細情報

AKVIS ArtWork — 写真から絵画を作成しましょう！

AKVIS ArtWorkは、様々なペイントテクニックを模倣できるよう設計されています。プログラムは、8 種類のペインティングスタイルを提供しています: 油絵、技法、グアッシュ、コミック、ペン & インク、リノカット、パステル、点描。簡単にデジタル写真から名作を作り出すことができます。 詳細情報

AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。 このツールはいくつかの目的に役立ちます: 写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい（コラージュ作成）, いらない不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい（クローンツールと類似）。 詳細情報

AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります！

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。 色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 詳細情報

AKVIS Coloriage — 白黒写真を色付けする

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を！

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。 詳細情報

AKVIS Decorator — 被写体の模様や色を変更

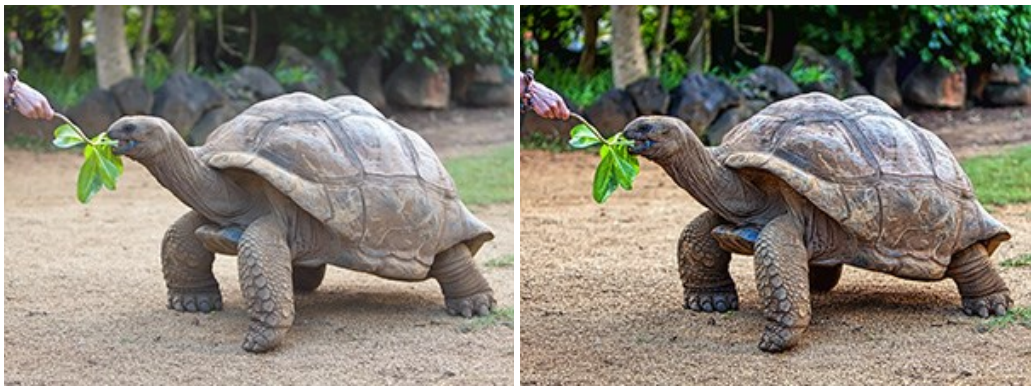
AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。 このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 詳細情報

AKVIS Draw — 手書きの鉛筆画への変換

AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します！ ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 詳細情報

AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。 本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 詳細情報



AKVIS Explosion — 素晴らしい粒子の爆発効果

AKVIS Explosion は、写真に爆発効果を追加し、砂などの粒子を適用します。このソフトウェアを使用することで、人目をひくグラフィックを数分で作成できます！ 詳細情報

AKVIS Frames — フレームパック

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます！ 詳細情報

AKVIS HDRFactory — 実際よりも明るい画像に!

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。 AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！ 詳細情報

AKVIS LightShop — 光と星の効果

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雫に映る反射、暖炉の燻っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに! 詳細情報

AKVIS Magnifier AI — きれいに画像解像度を上げることができます！

AKVIS Magnifier AI を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。 Magnifier AIは、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。 詳細情報

AKVIS MakeUp — 理想の肖像画を作成しましょう！

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。 詳細情報

AKVIS NatureArt — リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる！

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写

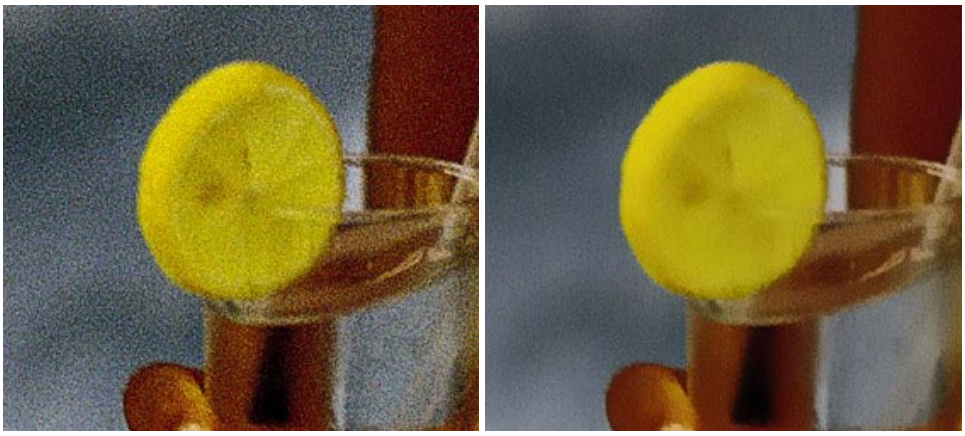
真からくる印象を強調するために使用することもできます。 自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます! 詳細情報

AKVIS Neon — グローエフェクト

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。 まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます！ 詳細情報

AKVIS Noise Buster — デジタルノイズリダクション

AKVIS Noise Buster を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。 デジタル ノイズが生じる要因はいくつか考えられます。カメラ マトリクスの加熱、長時間露出撮影、スモール ピクセル サイズ (これが原因で、デジタル コンパクト カメラを使用した場合、デジタル SLR よりもノイズの多い写真が生成されてしまう)、高 ISO 設定などがその要因です。 詳細情報



AKVIS OilPaint — 油絵効果

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 詳細情報

AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。 このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りだそうというものです。 詳細情報

AKVIS Points — 点描

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります! 詳細情報

AKVIS Refocus AI — ピンボケの修正とぼかし効果

AKVIS Refocus AI は、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。 本ソフトウェアには、[リフォーカス AI]、[逆ティルト効果]、[アイリスぼかし]、[移動ぼかし]、[放射状ぼかし]の5つのモードがあります。 詳細情報

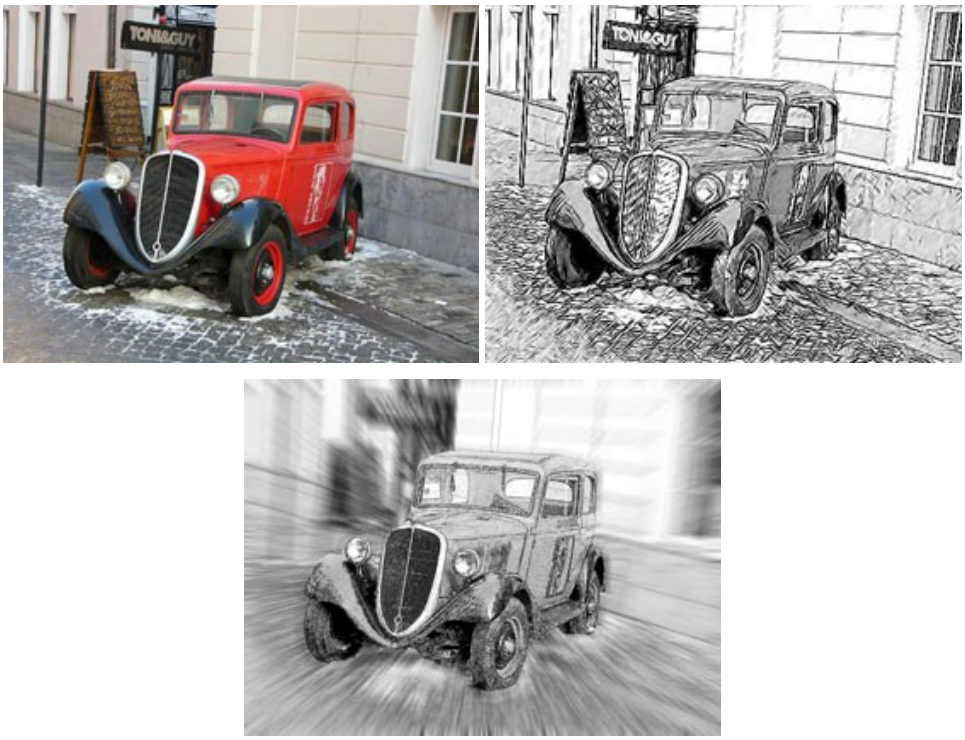
AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。 Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。 Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができるのです。 詳細情報

AKVIS Sketch — 写真から鉛筆画を作成しましょう！

AKVIS Sketch は、写真を鉛筆画や水彩画に自動的に変換するためのソフトウェアです。 Sketch を使うと、黒鉛や色鉛筆、木炭や水彩の技法を真似て、実

際に描いたようなカラーや白黒の絵を作成することができます。 詳細情報



AKVIS SmartMask — 選択範囲の作成を簡単にします

AKVIS SmartMask は楽しみながら使え、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。 今までにはない、シンプルな選択範囲用ツールです! 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。 詳細情報

AKVIS Watercolor — 水彩画

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。 詳細情報